

ANTENNA

2025年入試への万全の対策

第3回全統記述模試

入試本番まで残すところわずか2, 3ヶ月となりました。大学入学共通テストの出願も終わり、受験勉強もいよいよラストスパートの時期です。

さて、全国で259,087名が参加した第3回全統記述模試の成績集計結果をここに掲載します。

本番へ向けた冬休みの学習指針として、本冊子をじっくり読んで十分に活用してください。

皆さんに残された時間は残りわずかです。悔いのないよう来春のゴール目指して頑張ってください。

もくじ

見直しシート	2
個人成績表の見方	3
成績統計資料	5
総合成績表	5
科目別成績表	6
教科科目別設問別成績表	7
小問(単位問)別平均点	9
学習対策	22
英語	22
数学	22
国語	23
理科	24
地理歴史	27
公民	28
採点に関する問い合わせについて	29
お問い合わせ先一覧	31

※本冊子の編集内容の無断転載・複製を禁止します。

全統模試 見直しシート

STEP 1

個人成績表「1.成績概況」を確認し、受験した教科・科目と偏差値を書き込みましょう。

STEP 2

個人成績表「5.設問別成績」の、あなたと同じ学力レベル層や、第1志望校の一段階上の判定者との成績比較で差がついた設問を確認し、弱点となっている分野を書き込みましょう。

STEP 3

弱点分野を中心に、「学習の手引き」や本冊子の「学習対策」、模試ナビの解説講義動画などを確認し、今回の模試の反省点と、今後の具体的な対策（何を、いつまでにやるのか）を書き込みましょう。

STEP 4

個人成績表「3.志望校別成績・評価」を参考に、次回の模試の目標偏差値を書き込みましょう。

STEP 1		STEP 2	STEP 3		STEP 4
教科・科目	偏差値	弱点分野	今回の反省点	今後の対策	次回の目標偏差値
(例) 英語	52.1	文法・語法	基本的な文法の理解ができていない	次回の模試までに文法集の11～30ページをノートにまとめて復習する	55.0



河合塾 全統模試学習ナビゲーター



模試ナビは、Web上で全統模試の復習や成績確認などができるサービスです

利用料無料



河合塾講師によるわかりやすい解説講義動画が視聴可能！
間違えた問題は必ずチェックして理解を深めよう。



詳しい学習アドバイスやライバルとの差をつける追加問題
など、模試ナビだけのコンテンツも多数閲覧できます。

詳しくはこちらから

www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/

個人成績表の見方<注釈>

1. 成績概況

■学力レベルの定義は以下の通りです。

S : 偏差値 65.0 以上	D : 偏差値 45.0 ~ 49.9
A : 偏差値 60.0 ~ 64.9	E : 偏差値 40.0 ~ 44.9
B : 偏差値 55.0 ~ 59.9	F : 偏差値 40.0未満
C : 偏差値 50.0 ~ 54.9	

- 総合1**は、国理、国文、私理、私文の各型の母集団内での位置づけを示します。偏差値は全受験科目の偏差値の平均値です。上記の区別は、受験届の志望別欄のマークによります。未マークの場合は、最も高い志望順位にマークした国公立大学（マークしていない場合は私立大学）の文理区分によります。
 - 総合2**は、文系または理系別の位置づけを示します。偏差値は、文系は英・国・<数or地or公>から2～3教科、理系は英・数・理から2～3教科の偏差値の平均値です。理科、地歴、公民を複数科目受験している場合は、偏差値の高い科目を採用します。
 - 校内成績欄の母集団は、現役生は在籍高校、高卒生のうち予備校生はその予備校（一括申込の場合）です。また、偏差値は母集団が20名以上の場合のみ表示しています。
- ※校内順位は全国偏差値をもとに順位づけしています。

2. 全統共通テスト模試成績

- 共通テスト換算得点は、今年度の全統共通テスト模試の科目の得点を、直近の大学入学共通テストの得点に換算したものです。今年度の全統共通テスト模試の中での位置づけが、直近の大学入学共通テストの得点分布ではどのような位置に相当するかを示すもので、来年度の大学入学共通テストの得点を予想するものではありません。
- 理科、地歴、公民において第2解答科目の共通テスト換算得点が第1解答科目より高い場合は“*”を表示しています。

3. 志望校別成績・評価

■河合塾の合格可能性評価は、模試ごとの志望者分布だけでなく、今年度の全体志望動向等を含めて予想しています。

詳しくはこちらからご確認ください。

www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/



・合格可能性評価は、それぞれ次の意味を表します。

- A : 合格可能性評価80%以上…今のところ合格圏にあります。このペースで頑張りましょう。
- B : 合格可能性評価65%…油断大敵。合格圏へもうひとふんばりです。
- C : 合格可能性評価50%…ボーダーライン。合格圏めざして頑張りましょう。
- D : 合格可能性評価35%…これからの努力で、まだまだ伸びます。大いに頑張りましょう。
- E : 合格可能性評価20%以下……再検討を要します。学習法を一考しましょう。
- G : 教科・科目数の不足…志望大学入試に必要な教科・科目のなかに未受験のものがあります。
- H : 範囲不足…英語（リスニング）、数学（Ⅰ型、Ⅱ型、Ⅲ型）、国語（現・古・漢）のいずれかの範囲が不足しています。理科（全範囲）を課す大学を志望していますが、理科基礎を受験しています。なお、選択科目がある場合、通常は偏差値が高い方の科目を用いますが、一方の科目が範囲不足となっている場合は、成績に関わりなく範囲不足になっていないもう一方の科目を用いて合格可能性評価を行います。
- # : 大学入学共通テストと二次試験で同一科目受験が制限されている大学の志望者が、共通テスト模試と記述模試でその同一科目を受験した場合は合格可能性評価に「#」を付し、注意を促しています。
- * : 英・数・国・理・地公の教科試験が課されない等の理由により、合格可能性評価を行いません。

- ・志望大学に必要な教科・科目を一部受験していない場合は、受験している科目で評価偏差値を計算して評価を行い、評価欄にG付評価（例：BG、CGなど）を表示します。1科目も受験していない場合は、評価欄に「G」を付し、A～Eの評価は表示されません。
- ・ボーダーランク欄の「BF（ボーダーフリー）」という表示は、ボーダーラインが設定できなかった大学の募集区分（不合格者が少ないため、合格率50%となるボーダーラインがどの偏差値帯においても存在しないもの）を表しています。
- 定員**は、4年制大学および短期大学は募集人員、専門学校などは入学定員を表示しています。非公表の場合は河合塾推定で“*”を付しています。大学が若干名と公表している場合、もしくは、設定できない場合、募集人数を“0”と表示しています。
- 志望大学の中で、第1志望者内での集計と、総志望者での集計を行い、**順位と平均偏差値**を表示します。
 - ・「第1志望者」は、国公立大については当該大学を前期、中期、後期の各日程内で最も高い志望順位に記入した方、私立大その他についてはその中で当該大学を最も高い志望順位に記入した方、をそれぞれ集計対象としています。
 - ・第2志望以下の大学における第1志望者欄の順位は、第1志望者の母集団に当てはめた場合の順位です。

- ・平均偏差値は二次・一般の評価偏差値の平均です。二次試験で学科試験を課さない国公立大、大学独自の個別学科試験を課さない共通テスト利用私大・短大は、偏差値表示はされません。
- 教科別成績**には、各志望校の教科別の平均偏差値、本人成績、大学配点（各志望校の教科別配点）が表示されます。
- ・**平均偏差値**は、国公立大については第1志望者を、私立大その他については総志望者を集計対象としています。入試に課されない教科についても参考として表示しています。二次試験で学科試験を課さない国公立大は第1志望者、大学独自試験を課さない共通テスト利用私大・短大は総志望者の平均偏差値が参考として表示されます。第1志望者が0人の場合は表示されません。
- ・**本人成績**は、<1. 成績概況>の科目の偏差値の中で合格可能性評価に使用した科目の偏差値を表示しています（母集団はその科目を受験した方です）。理科、地歴、公民で2科目以上受験している場合は、入試で課される科目が1科目であれば使用した科目、2科目であれば科目の配点比率に応じて計算された偏差値が表示されます。

【例】E大学を志望したF君の場合

E大学の理科の配点 化学 80点 生物 40点
F君の記述模試の偏差値 化学 52.0 生物 59.8
とすると、F君のE大学の教科別成績の理科の欄は、

$$\frac{\{(52.0 \times 80) + (59.8 \times 40)\}}{80 + 40} = 54.6$$

下記の記号は、それぞれ次の意味を表します。

G : 必須教科・科目数の不足、H : 範囲不足

- ・**大学配点**は、入試に課される教科の教科別の配点のうち、あなたの合格可能性評価に採用された教科について表示されています。ただし、あなたが受験していない教科については表示されません。

4. 成績推移

- 昨年度の全統記述高2模試、今年度の第1～3回全統記述模試の成績推移を表示します。学力伸長度・学習成果の長期的な変化を確認できます。

5. 設問別成績

- 第1志望校の一段階上の判定者との成績比較とは、例えばあなたがC判定であれば、B判定者の平均点との比較になります（A判定の場合はA判定者の平均点との比較になります）。母集団は国公立大は出願予定者、私立大は総志望者です。一段階上の判定者が一人もいない場合は表示されません。

6. 学力要素別成績

- 今回の模試で出題された各問題が主にどんな学力を問うているのかを、学力を「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」の3要素に分類し、学力要素ごとの成績（得点率）を表示しています。選択問題が出題されている場合は、選択パターンごとに集計しています。

◆ 総合成績表

受験者総数 **259,087** 名

(現役：238,336名/高卒：20,751名)

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	66.1	64.0	89.5	36.7	50.0	49.4	56.4	200	0	256310	235712	20598
I型	100	34.0	34.0	37.1	22.6	50.0	50.0	51.4	100	0	9434	9321	113
II型	200	62.4	60.6	94.9	38.9	50.0	49.5	58.4	200	0	80943	76618	4325
III型	200	73.3	69.5	99.1	43.9	50.0	49.1	55.9	200	0	99287	86805	12482
現代文	150	56.2	56.0	63.2	15.9	50.0	49.8	54.4	146	0	13972	13466	506
現・古	200	73.4	73.3	75.4	17.8	50.0	50.0	51.1	165	0	29797	28131	1666
現古漢	200	75.6	74.8	90.3	24.6	50.0	49.7	56.0	197	0	127821	120982	6839
物理基礎	50	22.2	22.1	27.9	8.7	50.0	49.9	56.6	47	0	1451	1430	21
物理	100	36.2	34.1	52.6	22.0	50.0	49.1	57.5	100	0	85348	75957	9391
化学基礎	50	21.6	21.6	24.1	8.2	50.0	49.9	53.1	50	0	6004	5924	80
化学	100	34.0	31.9	50.3	19.3	50.0	48.9	58.4	100	0	106969	94782	12187
生物基礎	50	28.2	28.2	30.2	8.4	50.0	50.0	52.4	50	0	8773	8650	123
生物	100	38.5	36.8	52.0	16.4	50.0	49.0	58.2	100	0	31405	27896	3509
地学基礎	50	21.5	21.4	30.0	8.7	50.0	49.9	59.8	44	0	858	850	8
地学	100	34.4	31.9	44.5	20.1	50.0	48.7	55.0	95	0	242	194	48
世界史	100	31.5	30.5	47.0	18.8	50.0	49.4	58.3	99	0	36147	33961	2186
日本史	100	35.7	34.8	53.4	17.9	50.0	49.5	59.9	99	0	56616	53899	2717
地理	100	33.0	32.1	49.2	16.2	50.0	49.5	60.0	94	0	11235	10679	556
倫理	100	32.9	32.8	42.7	17.5	50.0	49.9	55.6	97	0	4488	4435	53
政治経済	100	38.3	38.1	48.9	14.5	50.0	49.9	57.3	97	0	29618	29130	488

全国の受験者の中での位置を教科・科目別/志望別に確認できる「教科科目別成績順位表」「志望別順位表」や、選択した志望校以外の大学・学部・学科の二次試験・一般試験の合格可能性が確認できる「合格可能性評価基準一覧」を、河合塾ホームページに掲載しています。

スマートフォンの方は
こちら



www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/

◆科目別成績表

受験者が1名の場合は成績は表示しておりません。

国公立大理系

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	73.4	70.8	95.5	-----	52.0	51.3	58.0	200	0	99659	89295	10364
I型	100	45.3	45.2	56.0	-----	55.0	55.0	59.7	100	0	1334	1317	17
II型	200	60.0	59.5	75.2	-----	49.4	49.3	53.3	182	0	16099	15573	526
III型	200	77.0	73.5	103.2	-----	50.9	50.0	56.8	200	0	82571	72740	9831
現代文	150	63.2	62.7	70.1	-----	54.4	54.1	58.7	119	0	2920	2730	190
現・古	200	82.0	81.7	85.3	-----	54.8	54.6	56.7	151	0	1340	1217	123
現古漢	200	75.8	74.9	94.2	-----	50.1	49.7	57.6	197	0	33577	32072	1505
物理基礎	50	24.3	24.2	30.9	-----	52.4	52.3	60.0	46	3	654	644	10
物理	100	38.5	36.5	54.2	-----	51.0	50.1	58.2	100	0	71315	63482	7833
化学基礎	50	24.4	24.3	27.2	-----	53.4	53.3	56.9	50	0	1946	1915	31
化学	100	35.7	33.7	51.9	-----	50.9	49.9	59.3	100	0	89564	79755	9809
生物基礎	50	29.8	29.8	31.1	-----	51.9	51.9	53.4	49	0	2108	2085	23
生物	100	40.8	39.3	53.8	-----	51.4	50.5	59.3	100	0	23152	20797	2355
地学基礎	50	22.8	22.9		-----	51.5	51.6		37	4	78	77	1
地学	100	37.2	35.0	44.5	-----	51.4	50.3	55.0	95	0	209	162	47
世界史	100	21.7	20.0	60.0	-----	44.8	43.9	65.2	80	0	68	65	3
日本史	100	25.3	24.7	43.1	-----	44.2	43.8	54.1	74	0	268	258	10
地理	100	28.1	28.1	34.1	-----	47.0	46.9	50.7	76	0	2264	2236	28
倫理	100	24.9	24.8		-----	45.4	45.4		74	3	86	85	1
政治経済	100	33.7	33.5	48.8	-----	46.8	46.7	57.2	90	0	586	581	5

国公立大文系

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	71.7	70.2	98.0	-----	51.5	51.1	58.7	194	0	65602	62109	3493
I型	100	37.3	37.3	36.6	-----	51.4	51.4	51.2	100	0	2439	2415	24
II型	200	70.7	68.5	104.2	-----	52.1	51.6	60.7	200	0	44935	42089	2846
III型	200	50.0	47.9	80.6	-----	44.7	44.2	51.7	185	0	310	290	20
現代文	150	60.9	60.8	62.7	-----	52.9	52.9	54.1	103	0	1651	1592	59
現・古	200	81.3	81.2	82.4	-----	54.4	54.4	55.0	150	2	4078	3797	281
現古漢	200	80.6	79.8	95.4	-----	52.0	51.7	58.0	187	0	58952	55861	3091
物理基礎	50	23.3	23.2	28.3	-----	51.2	51.1	57.0	45	1	223	219	4
物理	100	20.2	19.5	41.9	-----	42.7	42.4	52.6	80	0	569	550	19
化学基礎	50	23.5	23.5	24.0	-----	52.3	52.3	52.9	48	0	1278	1267	11
化学	100	20.7	20.5	29.7	-----	43.1	43.0	47.8	79	0	896	874	22
生物基礎	50	30.4	30.3	31.2	-----	52.6	52.6	53.6	50	0	2966	2930	36
生物	100	30.1	30.0	38.3	-----	44.9	44.8	49.9	70	0	440	433	7
地学基礎	50	23.5	23.4	33.3	-----	52.3	52.2	63.6	44	0	521	515	6
地学	100	20.1	20.1	-----	-----	42.9	42.9	-----	34	11	7	7	-----
世界史	100	33.4	32.3	51.8	-----	51.0	50.4	60.8	98	0	19349	18298	1051
日本史	100	36.3	35.6	55.6	-----	50.4	49.9	61.1	99	0	27154	26113	1041
地理	100	38.0	37.0	52.8	-----	53.1	52.4	62.2	94	0	6440	6008	432
倫理	100	36.3	36.1	47.2	-----	51.9	51.9	58.2	97	0	3474	3431	43
政治経済	100	40.7	40.7	47.2	-----	51.7	51.6	56.1	93	0	17251	17071	180

私立大理系

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	49.2	46.0	76.1	-----	45.4	44.5	52.7	193	0	28093	25075	3018
I型	100	33.9	33.9	31.9	-----	50.0	50.0	49.1	100	0	2558	2526	32
II型	200	43.8	43.2	60.0	-----	45.2	45.1	49.4	170	0	8921	8564	357
III型	200	55.2	49.6	84.3	-----	45.9	44.6	52.5	200	0	15942	13342	2600
現代文	150	55.3	55.1	62.1	-----	49.4	49.3	53.7	132	0	3021	2945	76
現・古	200	66.6	66.5	71.3	-----	46.2	46.1	48.8	163	20	669	653	16
現古漢	200	52.0	51.9	56.2	-----	40.4	40.4	42.1	131	0	3533	3512	21
物理基礎	50	19.8	19.8	22.7	-----	47.3	47.2	50.6	47	0	420	414	6
物理	100	25.2	22.6	44.7	-----	45.0	43.8	53.9	100	0	12912	11387	1525
化学基礎	50	19.6	19.6	22.9	-----	47.6	47.5	51.6	48	0	1691	1664	27
化学	100	26.1	22.9	43.8	-----	45.9	44.3	55.1	100	0	15641	13301	2340
生物基礎	50	26.3	26.2	31.6	-----	47.7	47.6	54.1	49	0	2046	1997	49
生物	100	32.8	29.9	48.7	-----	46.5	44.8	56.2	96	0	7290	6154	1136
地学基礎	50	15.1	15.0		-----	42.7	42.5	52.9		1	56	55	1
地学	100	15.4	15.4		-----	40.6	40.6	-----	34	1	18	18	-----
世界史	100	13.1	13.1	-----	-----	40.2	40.2	-----	34	3	56	56	-----
日本史	100	17.0	16.8		-----	39.6	39.4	58.0		3	143	142	1
地理	100	18.9	18.9	15.5	-----	41.3	41.3	39.2	72	0	382	380	2
倫理	100	20.3	20.3	-----	-----	42.8	42.8	-----	56	6	16	16	-----
政治経済	100	28.1	28.1	-----	-----	43.0	43.0	-----	75	7	190	190	-----

私立大文系

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	56.3	55.0	76.1	-----	47.3	47.0	52.7	187	0	62147	58475	3672
I型	100	26.6	26.5	33.4	-----	46.7	46.7	49.7	100	0	3052	3013	39
II型	200	47.1	44.7	89.5	-----	46.1	45.5	57.0	200	0	10808	10229	579
III型	200	31.6	30.5	56.2	-----	40.5	40.2	46.1	149	0	268	257	11
現代文	150	52.2	52.1	56.8	-----	47.5	47.4	50.4	146	0	6271	6094	177
現・古	200	71.8	71.8	72.9	-----	49.1	49.1	49.7	165	0	23683	22439	1244
現古漢	200	68.7	67.8	80.8	-----	47.2	46.8	52.1	186	0	31609	29390	2219
物理基礎	50	18.1	18.1		-----	45.3	45.2		45	0	150	149	1
物理	100	10.6	10.1	40.0	-----	38.3	38.1	51.7	93	0	484	476	8
化学基礎	50	17.4	17.4	18.5	-----	44.8	44.8	46.3	46	0	1069	1058	11
化学	100	13.0	12.7	33.4	-----	39.1	39.0	49.7	84	0	763	754	9
生物基礎	50	24.6	24.7	21.9	-----	45.7	45.8	42.5	50	0	1626	1611	15
生物	100	23.5	23.4	29.4	-----	40.9	40.8	44.5	77	1	453	448	5
地学基礎	50	17.6	17.6	-----	-----	45.5	45.5	-----	40	0	200	200	-----
地学	100	7.5	7.5	-----	-----	36.6	36.6	-----	18	0	6	6	-----
世界史	100	29.3	28.3	42.5	-----	48.8	48.3	55.8	99	0	16644	15514	1130
日本史	100	35.3	34.3	52.1	-----	49.8	49.2	59.1	99	0	29009	27349	1660
地理	100	25.5	24.9	37.8	-----	45.3	45.0	53.0	79	0	2133	2039	94
倫理	100	21.1	21.1	22.2	-----	43.2	43.2	43.9	85	0	911	902	9
政治経済	100	35.0	34.6	49.9	-----	47.7	47.4	58.0	97	0	11561	11258	303

◆教科科目別設問別成績表

英 語

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
		200	66.1	64.0	89.5		36.7	200	0	256310	235712	20598
1	リスニング	15	6.9	6.9	8.9		4.2	15	0	160389	157264	3125
2	中文空所補充	15	7.3	6.9	8.7		4.2	15	0	95915	78442	17473
3	文法・語法	20	7.2	7.0	9.8		4.1	20	0	256310	235712	20598
4	総合問題	60	24.8	24.2	32.4		13.9	60	0	256310	235712	20598
5	総合問題	60	14.3	13.7	21.7		12.1	60	0	256310	235712	20598
6	英作文（整序・本格・自由）	45	12.7	12.4	16.8		9.5	45	0	256310	235712	20598

数学 I 型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点					標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒	数学 I	数学 I A				全 体	現 役	高 卒
		100	34.0	34.0	37.1	25.1	35.1	22.6	100	0	9434	9321	113
1	絶対値、集合、2次不等式、三角比	60	22.9	22.9	26.1	17.9	23.5	15.3	60	0	9434	9321	113
2	放物線の対称移動、関数の値域	40	7.1	7.1	8.8	7.1		6.3	40	0	995	976	19
3	球の色の種類数に関する確率	40	11.3	11.3	10.2		11.3	11.6	40	0	5574	5513	61
4	正弦・余弦定理、内接円の半径	40	12.3	12.3	13.5		12.3	8.7	40	0	2819	2786	33

数学 II 型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点					標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒	数学 II B	数学 II B C				全 体	現 役	高 卒
		200	62.4	60.6	94.9	47.4	64.4	38.9	200	0	80943	76618	4325
1	合成、2次不等式、方べきの定理	50	22.7	22.3	30.0	18.8	23.2	11.4	50	0	80943	76618	4325
2	定積分と面積、3次方程式の解	50	16.9	16.4	26.1	12.1	17.5	14.6	50	0	80943	76618	4325
3	定点通過、円の通過する領域	50	9.8	9.4	17.0	7.1	10.2	9.1	50	0	80943	76618	4325
4	対数の大小、変数変換で2次関数	50	8.8	7.2	18.9	8.8		10.6	50	0	4664	4052	612
5	漸化式を作り、確率を求める	50	13.4	12.8	24.5	10.0	13.8	12.9	50	0	46037	43784	2253
6	交点の位置ベクトル、体積比	50	13.4	13.1	19.1		13.4	9.8	50	0	29753	28312	1441

数学 III 型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒	数学 III C				全 体	現 役	高 卒	
		200	73.3	69.5	99.1	73.3		43.9	200	0	99287	86805	12482
1	合成、方べきの定理、楕円の接線	40	20.9	20.1	26.8	20.9		11.6	40	0	99287	86805	12482
2	漸化式を作り、確率を求める	40	18.3	17.5	24.2	18.3		12.4	40	0	99287	86805	12482
3	交点の位置ベクトル、体積比	40	12.3	11.6	17.3	12.3		9.2	40	0	99287	86805	12482
4	回転体の体積、定積分の計算	40	12.6	11.9	17.8	12.6		11.3	40	0	99287	86805	12482
5	運動して動く点の軌跡	40	7.8	7.5	10.6	7.8		7.9	40	0	48853	42891	5962
6	定積分で表される数列、無限級数	40	10.4	9.7	15.5	10.4		11.7	40	0	49595	43178	6417

現代文型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
		150	56.2	56.0	63.2		15.9	146	0	13972	13466	506
1	現代文（評論）	50	11.5	11.4	14.1		6.3	48	0	13972	13466	506
2	現代文（評論）	50	24.3	24.2	26.8		7.7	48	0	13972	13466	506
5	現代文（随筆）	50	20.4	20.4	22.3		7.7	50	0	13972	13466	506

現・古型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
		200	73.4	73.3	75.4		17.8	165	0	29797	28131	1666
1	現代文（評論）	50	13.0	13.0	13.9		6.4	48	0	29797	28131	1666
2	現代文（評論）	50	26.9	26.9	27.7		7.2	50	0	29797	28131	1666
3	古文（物語）	50	11.0	11.0	11.2		6.2	44	0	29797	28131	1666
5	現代文（随筆）	50	22.5	22.5	22.5		7.1	50	0	29797	28131	1666

現・古・漢型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
		200	75.6	74.8	90.3		24.6	197	0	127821	120982	6839
1	現代文（評論）	50	14.7	14.6	17.1		6.7	49	0	127821	120982	6839
2	現代文（評論）	50	28.4	28.3	30.8		7.4	50	0	127821	120982	6839
3	古文（物語）	50	12.8	12.6	15.9		7.0	50	0	127821	120982	6839
4	漢文（史伝）	50	19.7	19.3	26.5		11.9	50	0	127821	120982	6839

国語

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
1	現代文（評論）	50	14.1	14.0	16.3		6.7	49	0	171590	162579	9011
2	現代文（評論）	50	27.8	27.7	30.0		7.5	50	0	171590	162579	9011
3	古文（物語）	50	12.4	12.3	15.0		6.9	50	0	157618	149113	8505
4	漢文（史伝）	50	19.7	19.3	26.5		11.9	50	0	127821	120982	6839
5	現代文（随筆）	50	21.8	21.8	22.5		7.4	50	0	43769	41597	2172

物理基礎

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒				全体	現役	高卒
トータル		50	22.2	22.1	27.9	8.7	47	0	1451	1430	21
1	等加速度直線運動	30	11.9	11.9	15.4	5.4	29	0	1451	1430	21
2	波の性質・定在波（定常波）	20	10.3	10.3	12.5	4.8	20	0	1451	1430	21

物理

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒				全体	現役	高卒
トータル		100	36.2	34.1	52.6	22.0	100	0	85348	75957	9391
1	単振動	33	13.7	13.1	18.9	7.8	33	0	85348	75957	9391
2	熱サイクル	33	11.3	10.7	16.9	7.8	33	0	85348	75957	9391
3	電場・磁場中での荷電粒子の運動	34	11.1	10.4	16.8	9.3	34	0	85348	75957	9391

化学基礎

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒				全体	現役	高卒
トータル		50	21.6	21.6	24.1	8.2	50	0	6004	5924	80
1	物質の構成、化学反応の量的関係	25	13.3	13.3	14.1	4.4	25	0	6004	5924	80
2	酸と塩基、酸化還元反応	25	8.3	8.3	10.1	4.8	25	0	6004	5924	80

化学

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒				全体	現役	高卒
トータル		100	34.0	31.9	50.3	19.3	100	0	106969	94782	12187
1	電池、電気分解	24	7.3	6.7	11.9	6.4	24	0	106969	94782	12187
2	芳香族化合物、合成高分子化合物	26	10.4	9.8	15.0	6.1	26	0	106969	94782	12187
3	両性金属、金属イオンの性質	30	12.6	12.1	16.9	6.4	30	0	106969	94782	12187
4	化学平衡	20	3.7	3.3	6.5	3.7	20	0	106969	94782	12187

生物基礎

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒				全体	現役	高卒
トータル		50	28.2	28.2	30.2	8.4	50	0	8773	8650	123
1	植物の呼吸と光合成	16	9.2	9.2	10.0	3.1	16	0	8773	8650	123
2	ホルモンの働きと分泌の調節	17	8.1	8.1	9.0	4.0	17	0	8773	8650	123
3	世界の気候とバイオーム	17	10.9	10.9	11.2	3.5	17	0	8773	8650	123

生物

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒				全体	現役	高卒
トータル		100	38.5	36.8	52.0	16.4	100	0	31405	27896	3509
1	原核生物の遺伝子発現の調節	25	9.8	9.4	13.2	5.1	25	0	31405	27896	3509
2	個体群と種間関係	25	10.5	10.2	13.3	5.0	25	0	31405	27896	3509
3	免疫とA B O式血液型の判定	25	8.1	7.6	12.6	5.3	25	0	31405	27896	3509
4	植物ホルモンによる成長の調節	25	10.1	9.7	12.9	5.6	25	0	31405	27896	3509

地学基礎

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒				全体	現役	高卒
トータル		50	21.5	21.4	30.0	8.7	44	0	858	850	8
1	地球の内部構造とプレート	16	8.0	8.0	10.9	3.8	16	0	858	850	8
2	地球の歴史と生物の進化	8	3.1	3.1	5.1	2.2	8	0	858	850	8
3	日本の天気と海洋	17	6.3	6.3	7.8	3.3	16	0	858	850	8
4	太陽系の天体の分類と特徴	9	4.1	4.1	6.3	2.6	9	0	858	850	8

地学

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒				全体	現役	高卒
トータル		100	34.4	31.9	44.5	20.1	95	0	242	194	48
1	地球内部の熱とプレート・ブルーム	20	5.5	5.0	7.7	4.9	20	0	242	194	48
2	火成岩の造岩鉱物と堆積岩の分類	20	10.3	9.7	12.6	5.4	20	0	242	194	48
3	地質図と顕生代の地球環境	20	6.0	5.7	7.2	3.6	20	0	242	194	48
4	大気圏の気温・気圧と水の循環	20	7.4	6.9	9.7	5.0	20	0	242	194	48
5	恒星と銀河系の質量測定法	20	5.2	4.7	7.3	4.6	20	0	242	194	48

世界史

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒				全体	現役	高卒
トータル		100	31.5	30.5	47.0	18.8	99	0	36147	33961	2186
1	万国博覧会の歴史	26	8.0	7.7	11.9	5.2	26	0	36147	33961	2186
2	エジプトの歴史	24	7.0	6.7	11.1	5.1	24	0	36147	33961	2186
3	上海の歴史	24	8.2	8.0	11.9	5.8	24	0	36147	33961	2186
4	世界史上の演説	26	8.3	8.1	12.1	5.0	26	0	36147	33961	2186

日本史

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒				全体	現役	高卒
トータル		100	35.7	34.8	53.4	17.9	99	0	56616	53899	2717
1	藤原氏の歴史	30	11.4	11.1	17.6	6.7	30	0	56616	53899	2717
2	蘭学の成立と展開	20	6.8	6.6	10.6	4.4	20	0	56616	53899	2717
3	自由民権運動と明治憲法体制	20	8.9	8.7	12.5	4.5	20	0	56616	53899	2717
4	貿易からみる日本の近現代	30	8.6	8.4	12.7	5.6	30	0	56616	53899	2717

地理

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒				全体	現役	高卒
トータル		100	33.0	32.1	49.2	16.2	94	0	11235	10679	556
1	地形・気候と自然災害	25	7.5	7.3	11.0	4.4	24	0	11235	10679	556
2	エネルギー・鉱産資源と環境問題	25	10.5	10.3	14.9	5.1	25	0	11235	10679	556
3	生活文化、国家・民族	25	8.5	8.2	13.1	4.9	25	0	11235	10679	556
4	ヨーロッパとその周辺の総合地誌	25	6.5	6.4	10.3	4.4	25	0	11235	10679	556

倫理

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒				全体	現役	高卒
トータル		100	32.9	32.8	42.7	17.5	97	0	4488	4435	53
1	国際化と倫理的課題	24	10.1	10.0	12.1	4.4	24	0	4488	4435	53
2	東西の源流思想	26	8.3	8.3	10.3	5.6	26	0	4488	4435	53
3	日本の近現代思想	24	6.7	6.7	9.7	4.6	24	0	4488	4435	53
4	西洋の近現代思想	26	7.8	7.8	10.5	6.2	26	0	4488	4435	53

政治・経済

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒				全体	現役	高卒
トータル		100	38.3	38.1	48.9	14.5	97	0	29618	29130	488
1	日本国憲法をめぐる諸問題	20	8.5	8.5	11.0	3.4	20	0	29618	29130	488
2	国民福祉の現状と課題	20	7.7	7.7	9.9	4.0	20	0	29618	29130	488
3	戦後の国際政治と日本外交	20	8.2	8.2	10.3	4.3	20	0	29618	29130	488
4	戦後の国際経済	20	7.2	7.2	9.5	3.5	20	0	29618	29130	488
5	現代世界の諸問題	20	6.6	6.6	8.2	3.5	20	0	29618	29130	488

小問(単位問)別平均点 〈英語〉

英 語 受験者数： 256310 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	リスニング	15	6.9	1.1	3	1.1		○	
				1.2	3	1.8		○	
				1.3	3	1.5		○	
				1.4	3	1.7		○	
				1.5	3	0.9		○	
2	中文空所補充	15	7.3	2(1)	3	1.3		○	
				2(2)	3	1.7		○	
				2(3)	3	1.4		○	
				2(4)	3	1.5		○	
				2(5)	3	1.4		○	
3	文法・語法	20	7.2	3.A.1	2	0.8	○		
				3.A.2	2	0.3	○		
				3.A.3	2	0.5	○		
				3.A.4	2	0.6	○		
				3.A.5	2	1.1	○		
				3.A.6	2	1.2	○		
				3.A.7	2	0.9	○		
				3.A.8	2	0.8	○		
				3.B.1	2	0.4	○		
				3.B.2	2	0.4	○		
4	総合問題	60	24.8	4.問1	10	4.1		○	
				4.問2	12	3.5		○	
				4.問3	5	1.9		○	
				4.問4	5	1.5		○	
				4.問5	5	1.7		○	
				4.問6	5	3.7		○	
				4.問7	5	3.6		○	
				4.問8	5	1.0		○	
				4.問9	8	3.9		○	
5	総合問題	60	14.3	5.問1	5	4.0		○	
				5.問2	5	0.5		○	
				5.問3	14	3.3		○	
				5.問4	10	2.0		○	
				5.問5	8	1.3		○	
				5.問6	8	2.3		○	
				5.問7	10	0.9		○	
6	英作文(整序・本格・自由)	45	12.7	6.A.1	4	1.4	○		
				6.A.2	4	1.6	○		
				6.A.3	4	0.7	○		
				6.B(1)	8	1.2		○	○
				6.B(2)	9	1.2		○	○
				6.C	16	6.6			○

小問(単位問)別平均点 〈数学I型〉

I 型 受験者数： 9434 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	絶対値、集合、2次不等式、三角比	60	22.9	1(1)(i)	4	2.0	○		
				1(1)(ii)	12	3.9	○		
				1(2)(i)	6	3.8	○		
				1(2)(ii)	8	1.4	○		
				1(3)(i)	6	4.7	○		
				1(3)(ii)	8	1.7	○		
				1(4)(i)	4	1.6	○		
				1(4)(ii)	6	2.6	○		
				1(4)(iii)	6	1.3	○		
				2	放物線の対称移動、関数の値域	40	7.1	2(1)	6
2(2)	8	3.1	○						
2(3)(i)	12	0.4						○	
2(3)(ii)	14	0.0						○	
3	球の色の種類数に関する確率	40	11.3	3(1)	8	3.6	○		
				3(2)	10	3.7		○	
				3(3)	12	3.6		○	
				3(4)	10	0.4		○	
4	正弦・余弦定理、内接円の半径	40	12.3	4(1)	14	8.7	○		
				4(2)	14	3.5		○	
				4(3)	12	0.1		○	

小問(単位問)別平均点〈数学Ⅱ型〉

Ⅱ型 受験者数： 80943 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	合成、2次不等式、方べきの定理	50	22.7	1(1)(i)	4	3.3	○		
				1(1)(ii)	6	3.8	○		
				1(2)	12	3.4	○		
				1(3)(i)	4	3.7	○		
				1(3)(ii)	8	2.3	○		
				1(4)(i)	8	5.4	○		
				1(4)(ii)	8	0.9		○	
				2	定積分と面積、3次方程式の解	50	16.9	2(1)	12
				2(2)(i)	24	8.8	○		
				2(2)(ii)	14	1.0		○	
3	定点通過、円の通過する領域	50	9.8	3(1)	14	6.6	○		
				3(2)	12	2.9	○		
				3(3)(i)	12	0.2		○	
				3(3)(ii)	12	0.0		○	○
4	対数の大小、変数変換で2次関数	50	8.8	4(1)	10	5.0	○		
				4(2)(i)	20	3.3		○	
				4(2)(ii)	20	0.4		○	
5	漸化式を作り、確率を求める	50	13.4	5(1)	10	7.3	○		
				5(2)	25	5.6		○	
				5(3)	15	0.6		○	
6	交点の位置ベクトル、体積比	50	13.4	6(1)	14	9.7	○		
				6(2)(i)	20	3.6		○	
				6(2)(ii)	16	0.1		○	

小問(単位問)別平均点〈数学Ⅲ型〉

Ⅲ型 受験者数： 99287 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	合成、方べきの定理、楕円の接線	40	20.9	1(1)	8	4.7	○		
				1(2)(i)	6	4.8	○		
				1(2)(ii)	6	1.5		○	
				1(3)(i)	5	3.3	○		
				1(3)(ii)	5	2.1	○		
				1(4)	10	4.5	○		
				2	漸化式を作り、確率を求める	40	18.3	2(1)	8
				2(2)	20	10.2		○	
				2(3)	12	1.3		○	
3	交点の位置ベクトル、体積比	40	12.3	3(1)	10	7.3	○		
				3(2)(i)	16	4.6		○	
				3(2)(ii)	14	0.4		○	
4	回転体の体積、定積分の計算	40	12.6	4(1)	14	6.3	○		
				4(2)(i)	10	5.2	○		
				4(2)(ii)	16	1.2		○	
5	運動して動く点の軌跡	40	7.8	5(1)	10	5.6	○		
				5(2)	15	2.2		○	
				5(3)	15	0.1		○	○
6	定積分で表される数列、無限級数	40	10.4	6(1)	10	4.0	○		
				6(2)	18	5.4		○	
				6(3)	12	1.1		○	○

小問(単位問)別平均点 〈国語〉

現代文 受験者数： 13972 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	現代文(評論)	50	11.5	1.問1.X	5	2.0		○					
				1.問1.Y	5	1.4		○					
				1.問2	16	2.4		○	○				
				1.問3	14	1.7		○	○				
				1.問4	10	3.9		○					
2	現代文(評論)	50	24.3	2.問1.a	2	0.9	○						
				2.問1.b	2	1.6	○						
				2.問1.c	2	1.2	○						
				2.問1.d	2	0.7	○						
				2.問1.e	2	0.9	○						
				2.問2	10	7.6		○					
				2.問3	6	2.2		○					
				2.問4	14	2.7		○	○				
				2.問5	10	6.5		○					
				5	現代文(随筆)	50	20.4	5.問1.a	2	1.7	○		
								5.問1.b	2	1.5	○		
5.問1.c	2	1.4	○										
5.問1.d	2	1.5	○										
5.問1.e	2	1.9	○										
5.問2	5	2.4						○					
5.問3	4	2.7						○					
5.問4	6	2.3						○					
5.問5	7	1.0						○					
5.問6	14	2.1						○	○				
5.問7	4	1.8	○										

小問(単位問)別平均点 〈国語〉

現・古 受験者数： 29797 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	現代文(評論)	50	13.0	1.問1.X	5	2.5		○					
				1.問1.Y	5	1.6		○					
				1.問2	16	2.8		○	○				
				1.問3	14	2.1		○	○				
				1.問4	10	4.0		○					
2	現代文(評論)	50	26.9	2.問1.a	2	1.0	○						
				2.問1.b	2	1.7	○						
				2.問1.c	2	1.4	○						
				2.問1.d	2	0.8	○						
				2.問1.e	2	1.1	○						
				2.問2	10	8.3		○					
				2.問3	6	2.6		○					
				2.問4	14	3.1		○	○				
				2.問5	10	7.0		○					
				3	古文(物語)	50	11.0	3.問1.1	4	1.9	○		
								3.問1.2	4	0.7	○		
3.問1.5	4	1.8	○										
3.問2	12	0.5						○	○				
3.問3	6	0.0						○	○				
3.問4	5	1.4	○										
3.問5	6	1.7						○	○				
3.問6.a	3	0.9						○					
3.問6.b	3	0.4						○					
3.問7	3	1.8	○										
5	現代文(随筆)	50	22.5					5.問1.a	2	1.8	○		
				5.問1.b	2	1.6	○						
				5.問1.c	2	1.6	○						
				5.問1.d	2	1.6	○						
				5.問1.e	2	1.9	○						
				5.問2	5	2.8		○					
				5.問3	4	3.1		○					
				5.問4	6	2.7		○					
				5.問5	7	1.0		○					
				5.問6	14	2.3		○	○				
				5.問7	4	2.1	○						

小問(単位問)別平均点〈国語〉

現古漢

受験者数： 127821 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	現代文(評論)	50	14.7	1.問1.X	5	3.0		○					
				1.問1.Y	5	1.9		○					
				1.問2	16	3.2		○	○				
				1.問3	14	2.6		○	○				
				1.問4	10	4.1		○					
2	現代文(評論)	50	28.4	2.問1.a	2	1.1	○						
				2.問1.b	2	1.8	○						
				2.問1.c	2	1.5	○						
				2.問1.d	2	0.9	○						
				2.問1.e	2	1.2	○						
				2.問2	10	8.5		○					
				2.問3	6	2.7		○					
				2.問4	14	3.6		○	○				
				2.問5	10	7.2		○					
				3	古文(物語)	50	12.8	3.問1.1	4	2.1	○		
								3.問1.2	4	0.8	○		
3.問1.5	4	2.1	○										
3.問2	12	0.9						○	○				
3.問3	6	0.1						○	○				
3.問4	5	1.4	○										
3.問5	6	2.1						○	○				
3.問6.a	3	1.0						○					
3.問6.b	3	0.4						○					
3.問7	3	1.8	○										
4	漢文(史伝)	50	19.7					4.問1.イ	2	1.3	○		
				4.問1.ロ	2	1.3	○						
				4.問1.ハ	2	0.6	○						
				4.問2.a	3	1.2	○						
				4.問2.b	3	1.1	○						
				4.問3	8	3.9		○	○				
				4.問4	7	3.3		○					
				4.問5	6	2.1		○					
				4.問6	12	2.2		○	○				
				4.問7	5	2.8		○					

小問(単位問)別平均点 〈物理基礎〉

物理基礎

受験者数： 1451 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	等加速度直線運動	30	11.9	1. 問1	3	2.5	○						
				1. 問2(ア)	2	1.3	○						
				1. 問2(イ)	2	1.6	○						
				1. 問3.v1	3	2.3	○						
				1. 問3.x1	3	1.8	○						
				1. 問4	3	0.8		○					
				1. 問5	4	1.4		○					
				1. 問6.1時刻	3	0.1		○					
				1. 問6.2速度	3	0.1		○					
				1. 問7	4	0.0		○					
				2	波の性質・定在波(定常波)	20	10.3	2. 問1(1)	1	0.8	○		
								2. 問1(2)	1	0.9	○		
								2. 問1(3)	1	0.6	○		
2. 問1(4)	1	0.6	○										
2. 問1(5)	1	0.5	○										
2. 問2(1)	2	1.4						○					
2. 問2(2)	2	0.6						○					
2. 問3	2	1.3	○										
2. 問4	2	1.3	○										
2. 問5.1振幅	2	0.8	○										
2. 問5.2周期	2	0.7	○										
2. 問6	3	0.9						○	○				

小問(単位問)別平均点 〈物理〉

物理

受験者数： 85348 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	単振動	33	13.7	1. 問1	3	1.6	○						
				1. 問2.1振幅	3	2.1	○						
				1. 問2.2周期	3	2.0	○						
				1. 問3	3	1.7	○						
				1. 問4(ア)	2	1.4		○					
				1. 問4(イ)	2	1.6		○					
				1. 問4(ウ)	2	1.1		○					
				1. 問5	3	0.9		○					
				1. 問6	3	0.7		○					
				1. 問7.1小球	3	0.3		○					
				1. 問7.2物体	3	0.1		○					
				1. 問8	3	0.2		○					
				2	熱サイクル	33	11.3	2. 問1.1状態A	2	1.7	○		
								2. 問1.2状態B	2	1.6	○		
								2. 問2(1)	2	1.2	○		
								2. 問2(2)	2	1.3	○		
								2. 問2(3)	2	0.9	○		
								2. 問3	3	1.1	○		
2. 問4	3	0.4	○										
2. 問5.1仕事	2	0.7						○					
2. 問5.2熱効率	3	0.1						○					
2. 問6(ア)	2	0.6						○					
2. 問6(イ)	2	0.8						○					
2. 問6(ウ)	2	0.3						○					
2. 問6(エ)	2	0.3						○					
2. 問6(オ)	2	0.4						○					
2. 問6(カ)	2	0.0						○					
3	電場・磁場中での荷電粒子の運動	34	11.1					3. 問1.1大きさ	2	1.3	○		
								3. 問1.2向き	1	0.7	○		
								3. 問2	3	2.4	○		
				3. 問3	4	1.3	○						
				3. 問4	4	1.0	○						
				3. 問5	8	3.3		○	○				
				3. 問6	4	0.4		○					
				3. 問7	4	0.3		○					
3. 問8	4	0.4		○	○								

小問(単位問)別平均点 〈化学基礎〉

化学基礎

受験者数： 6004 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	物質の構成、化学反応の量的関係	25	13.3	1. 問1	4	2.0	○						
				1. 問2. あ	2	1.7	○						
				1. 問2. い	2	1.4	○						
				1. 問3(1)	2	1.5	○						
				1. 問3(2)	2	2.0	○						
				1. 問3(3)	2	1.1		○					
				1. 問4	2	1.8	○						
				1. 問5	2	1.0	○						
				1. 問6(1)1酸素	2	0.1		○					
				1. 問6(1)2二酸	2	0.4		○					
				1. 問6(2)	3	0.4		○					
				2	酸と塩基、酸化還元反応	25	8.3	2. 問1	2	1.1	○		
								2. 問2	2	0.9	○		
								2. 問3	2	0.6	○		
2. 問4	3	0.2	○										
2. 問5(1)	2	0.5	○										
2. 問5(2)	2	1.5	○										
2. 問5(3)1図	2	1.5	○										
2. 問5(3)2方法	2	1.4	○										
2. 問5(4)	2	0.2	○										
2. 問5(5)	4	0.3						○	○				
2. 問5(6)	2	0.1						○					

小問(単位問)別平均点 〈化学〉

化学

受験者数： 106969 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	電池、電気分解	24	7.3	1. 問1	2	1.0	○						
				1. 問2	2	1.0	○						
				1. 問3(1)	3	1.0		○					
				1. 問3(2)	3	0.3		○					
				1. 問4	2	0.4	○						
				1. 問5. A	2	0.8	○						
				1. 問5. B	2	0.6	○						
				1. 問6	2	1.0	○						
				1. 問7	3	0.6		○					
				1. 問8	3	0.4		○	○				
				2	芳香族化合物、合成高分子化合物	26	10.4	2. 問1	2	1.0	○		
								2. 問2	2	1.7	○		
								2. 問3. A	2	1.2	○		
								2. 問3. B	2	1.4	○		
2. 問4. C	2	0.6						○					
2. 問4. X	3	0.5						○					
2. 問5	3	1.2						○					
2. 問6	2	1.1	○										
2. 問7	2	1.0	○										
2. 問8	3	0.4						○					
2. 問9	3	0.2						○					
3	両性金属、金属イオンの性質	30	12.6					3. 問1. あ	2	1.1	○		
								3. 問1. い	2	1.7	○		
								3. 問1. う	2	1.1	○		
				3. 問2	3	0.4	○						
				3. 問3	2	1.3	○						
				3. 問4(1)	2	0.9	○						
				3. 問4(2)	2	0.9	○						
				3. 問5	2	0.9	○						
				3. 問6	2	0.3	○						
				3. 問7. C	2	1.5		○					
				3. 問7. D	2	1.2		○					
				3. 問7. Z	2	0.6		○					
				3. 問8(1)	2	0.5		○					
				3. 問8(2)	3	0.1		○					
4	化学平衡	20	3.7	4. 問1	2	0.8	○						
				4. 問2	2	1.2	○						
				4. 問3	2	0.4		○					
				4. 問4	2	0.4		○					
				4. 問5	3	0.3		○					
				4. 問6	3	0.5		○					
				4. 問7. P2P1	3	0.1		○					
				4. 問7. V2V1	3	0.1		○					

小問(単位問)別平均点 〈生物基礎〉

生物基礎 受験者数： 8773 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	植物の呼吸と光合成	16	9.2	1.問1.1	2	1.4	○						
				1.問1.2	2	1.5	○						
				1.問1.3	2	1.8	○						
				1.問2	2	1.2	○						
				1.問3	2	0.5	○						
				1.問4(1)1	1	0.2		○					
				1.問4(1)2	1	0.9		○					
				1.問4(2)	4	1.6		○	○				
				2	ホルモンの働きと分泌の調節	17	8.1	2.問1.1	2	0.8	○		
								2.問1.2	2	1.5	○		
2.問2	2	0.9	○										
2.問3(1)	1	0.8	○										
2.問3(2)	1	0.8	○										
2.問4(1)	2	1.0	○										
2.問4(2)	2	1.0	○										
2.問5(1)	1	0.3						○					
2.問5(2)	4	0.9						○	○				
3	世界の気候とバイオーム	17	10.9					3.問1.1	2	1.6	○		
				3.問1.2	2	1.2	○						
				3.問1.3	2	0.9	○						
				3.問2(1)	2	0.8	○						
				3.問2(2)	1	0.6	○						
				3.問3.4	1	0.8		○					
				3.問3.5	1	0.8		○					
				3.問3.6	2	1.4		○	○				
				3.問4(1)	2	1.9		○					
				3.問4(2)	2	1.0		○					

小問(単位問)別平均点 〈生物〉

生物 受験者数： 31405 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	原核生物の遺伝子発現の調節	25	9.8	1.問1.1	2	1.4	○						
				1.問1.2	2	1.4	○						
				1.問1.3	2	0.5	○						
				1.問2	4	1.0			○				
				1.問3	2	0.7	○						
				1.問4	2	1.3	○						
				1.問5	2	0.7		○					
				1.問6(1)i	1	0.6		○					
				1.問6(1)ii	1	0.7		○					
				1.問6(2)	2	1.0		○					
				1.問6(3)	5	0.4		○	○				
				2	個体群と種間関係	25	10.5	2.問1.1	2	0.5	○		
								2.問1.2	2	0.6	○		
								2.問1.3	2	0.4	○		
								2.問2.4	1	0.8		○	
2.問2.5	1	0.8						○					
2.問2.6	1	0.9						○					
2.問2.7	1	0.7						○					
2.問3(1)1	1	0.6	○										
2.問3(1)2	1	0.6	○										
2.問3(2)	3	0.6						○	○				
2.問4	1	0.7	○										
2.問5(1)	1	0.5	○										
2.問5(2)	1	0.3	○										
2.問6	4	1.6						○	○				
2.問7	3	0.8						○					
3	免疫とA B O式血液型の判定	25	8.1	3.問1.1	2	1.5	○						
				3.問1.2	2	0.8	○						
				3.問1.3	2	0.8	○						
				3.問2(1)	2	0.6	○						
				3.問2(2)	2	0.2	○						
				3.問3	3	1.2			○				
				3.問4(1)	2	0.8	○						
				3.問4(2)	2	0.5		○					
				3.問5(1)10型	1	0.6		○					
				3.問5(1)2A型	1	0.2		○					
				3.問5(2)X	1	0.3		○					
				3.問5(2)Y	1	0.4		○					
				3.問5(3)	4	0.3		○	○				
				4	植物ホルモンによる成長の調節	25	10.1	4.問1.1	2	0.9	○		
								4.問1.2	2	1.0	○		
4.問1.3	2	0.8	○										
4.問2	2	1.2	○										
4.問3	2	0.7	○										
4.問4.1	1	0.8	○										
4.問4.2	1	0.8	○										
4.問4.3	1	0.6	○										
4.問5	4	1.2						○	○				
4.問6(1)4	1	0.3						○					
4.問6(1)5	1	0.2						○					
4.問6(1)6	1	0.3						○					
4.問6(1)7	1	0.4						○					
4.問6(1)8	1	0.5						○					
4.問6(2)	3	0.3						○	○				

小問(単位問)別平均点〈地学基礎〉

地学基礎

受験者数： 858 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	地球の内部構造とプレート	16	8.0	1.問1.1	1	0.5	○						
				1.問1.2	1	0.8	○						
				1.問1.3	1	0.4	○						
				1.問1.4	1	0.6	○						
				1.問2	3	0.7			○				
				1.問3	2	1.3	○						
				1.問4	3	1.3			○				
				1.問5	2	0.8		○					
				1.問6	2	1.6	○						
				2	地球の歴史と生物の進化	8	3.1	2.問1	2	0.9	○		
								2.問2	2	0.8	○		
2.問3	2	0.5						○	○				
2.問4	2	0.9	○										
3	日本の天気と海洋	17	6.3	3.問1.1	1	0.5	○						
				3.問1.2	1	0.0	○						
				3.問1.3	1	0.7	○						
				3.問1.4	1	0.6	○						
				3.問2	2	0.9	○						
				3.問3(1)	2	1.1		○					
				3.問3(2)	2	1.0	○						
				3.問3(3)	2	0.4	○						
				3.問4	2	0.7		○					
				3.問5	3	0.4		○	○				
				4	太陽系の天体の分類と特徴	9	4.1	4.問1.1	1	0.3	○		
4.問1.2	1	0.4	○										
4.問2	2	1.2						○					
4.問3	2	1.2	○										
4.問4(1)	1	0.5	○										
4.問4(2)	2	0.5	○										

小問(単位問)別平均点〈地学〉

地学

受験者数： 242 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	地球内部の熱とプレート・ブルーム	20	5.5	1.問1.1	2	0.5	○						
				1.問1.2	2	0.3	○						
				1.問2	2	0.7			○				
				1.問3(1)	2	0.6	○						
				1.問3(2)	2	0.6	○						
				1.問4(1)	2	0.8	○						
				1.問4(2)	3	0.8			○				
				1.問5	3	1.0			○				
				1.問6	2	0.4	○						
				2	火成岩の造岩鉱物と堆積岩の分類	20	10.3	2.問1	3	1.1			○
								2.問2.1	2	1.1	○		
								2.問2.2	2	0.6	○		
								2.問3(1)A	1	0.4			○
2.問3(1)B	1	0.4							○				
2.問3(1)C	1	0.5							○				
2.問3(2)	2	1.0							○				
2.問3(3)	2	1.3							○				
2.問4	2	0.8	○										
2.問5.D	1	0.8							○				
2.問5.E	1	0.8							○				
2.問5.F	1	0.8							○				
2.問5.G	1	0.6							○				
3	地質図と顕生代の地球環境	20	6.0	3.問1.1走向	2	0.1			○				
				3.問1.2傾斜方向	2	0.0			○				
				3.問2	3	0.1			○				
				3.問3	3	1.4			○				
				3.問4.X	2	1.1	○						
				3.問4.Y	2	1.0	○						
				3.問5.1	2	1.2			○				
				3.問5.2	2	0.5			○				
				3.問5.3	2	0.5			○				
				4	大気圏の気温・気圧と水の循環	20	7.4	4.問1.1	2	0.8	○		
								4.問1.2	2	1.3	○		
								4.問1.3	2	1.3	○		
								4.問2	2	0.3			○
4.問3	2	1.0	○										
4.問4	3	0.6							○				
4.問5	2	0.5	○						○				
4.問6	2	1.0	○										
4.問7	3	0.6							○				
5	恒星と銀河系の質量測定法	20	5.2					5.問1.1	1	0.7	○		
								5.問1.2	1	0.5	○		
								5.問1.3	2	0.7	○		
								5.問2	2	1.2	○		
				5.問3(1)	2	0.7			○				
				5.問3(2)	2	0.5			○				
				5.問3(3)A	2	0.1			○				
				5.問3(3)B	2	0.1			○				
				5.問3(4)	3	0.4			○				
				5.問4	3	0.4			○				

小問(単位問)別平均点 〈世界史〉

世界史 受験者数： 36147 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	万国博覧会の歴史	26	8.0	1.1	1	0.5	○						
				1.2	1	0.1	○						
				1.3	1	0.4	○						
				1.4	1	0.3	○						
				1.5	1	0.2	○						
				1.6	1	0.4	○						
				1.問1	2	0.7	○						
				1.問2	2	0.8		○					
				1.問3	2	0.8		○					
				1.問4	2	0.6		○					
				1.問5	2	1.1	○						
				1.問6	4	0.4		○	○				
				1.問7	2	1.1		○					
				1.問8	2	0.1	○						
				1.問9	2	0.4		○					
				2	エジプトの歴史	24	7.0	2.1	1	0.2	○		
								2.2	1	0.3	○		
								2.3	1	0.4	○		
								2.4	1	0.2	○		
2.5	1	0.2	○										
2.6	1	0.1	○										
2.問1	2	0.7						○					
2.問2	2	0.9						○					
2.問3.i	2	1.0						○					
2.問3.ii	2	0.9	○										
2.問4	2	0.6						○					
2.問5	2	0.2	○										
2.問6	2	0.2	○										
2.問7	2	0.6						○					
2.問8	2	0.4	○										
3	上海の歴史	24	8.2	3.1	1	0.2	○						
				3.2	1	0.4	○						
				3.3	1	0.3	○						
				3.4	1	0.2	○						
				3.5	1	0.2	○						
				3.6	1	0.2	○						
				3.7	1	0.8	○						
				3.8	1	0.1	○						
				3.問1	2	0.6		○					
				3.問2	2	0.4	○						
				3.問3	2	1.2	○						
				3.問4	2	0.8	○						
				3.問5	2	0.8		○					
				3.問6	2	0.3	○						
				3.問7	2	0.9	○						
				3.問8	2	0.9	○						

小問(単位問)別平均点 〈世界史〉

世界史

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
4	世界史上の演説	26	8.3	4.1	1	0.5	○		
				4.2	1	0.2	○		
				4.3	1	0.8	○		
				4.4	1	0.4	○		
				4.問1	2	0.9		○	
				4.問2.ア	1	0.3	○		
				4.問2.イ	1	0.1	○		
				4.問3	2	0.8		○	
				4.問4	2	0.7		○	
				4.問5.ア	1	0.1	○		
				4.問5.イ	1	0.4	○		
				4.問6	2	0.8		○	○
				4.問7	2	0.4		○	○
				4.問8.ア	1	0.1	○		
				4.問8.イ	1	0.2	○		
				4.問9	2	0.5		○	○
				4.問10	2	0.7		○	○
4.問11.ア	1	0.4	○						
4.問11.イ	1	0.1	○						

小問(単位問)別平均点〈日本史〉

日本史 受験者数： 56616 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	藤原氏の歴史	30	11.4	1.問1	2	0.8		○	
				1.問2	2	1.5	○		
				1.問3	2	0.5	○		
				1.問4	2	0.9		○	
				1.問5	2	0.6	○		
				1.問6	2	0.5	○		
				1.問7	2	1.0		○	
				1.問8	2	0.4		○	
				1.問9	2	0.1	○		
				1.問10	2	0.6	○		
				1.問11.a	1	0.3	○		
				1.問11.b	1	0.7	○		
				1.問11.c	1	0.6	○		
				1.問11.d	1	0.5	○		
				1.問11.e	1	0.5	○		
				1.問11.f	1	0.5	○		
				1.問11.g	1	0.4	○		
				1.問11.h	1	0.6	○		
				1.問11.i	1	0.4	○		
				1.問11.j	1	0.2	○		
2	蘭学の成立と展開	20	6.8	2.問1	2	1.3		○	
				2.問2	2	0.8	○		
				2.問3	2	1.7	○		
				2.問4	2	0.4	○		
				2.問5	2	0.3	○		
				2.問6	2	0.3	○		
				2.問7	2	0.8		○	
				2.問8	2	0.4	○		
				2.問9	2	0.2	○		
				2.問10	2	0.7		○	
3	自由民権運動と明治憲法体制	20	8.9	3.問1	2	0.5		○	
				3.問2	2	0.7	○		
				3.問3	2	0.8	○		
				3.問4	2	0.3	○		
				3.問5	2	0.7		○	
				3.問6	2	1.0		○	
				3.問7.1	1	0.3	○		
				3.問7.2	1	0.5	○		
				3.問7.3	1	0.7	○		
				3.問7.4	1	0.6	○		
				3.問7.5	1	0.5	○		
				3.問7.6	1	0.8	○		
				3.問7.7	1	0.9	○		
				3.問7.8	1	0.6	○		

小問(単位問)別平均点〈日本史〉

日本史

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
4	貿易からみる日本の近現代	30	8.6	4.問1	2	1.0	○		
				4.問2	2	0.4	○		
				4.問3	2	0.7	○		
				4.問4	4	0.2		○	○
				4.問5	2	0.4	○		
				4.問6	2	0.2	○		
				4.問7	2	0.7		○	
				4.問8	2	0.5	○		
				4.問9	2	0.3	○		
				4.問10	2	0.9		○	
				4.問11	2	0.1	○		
				4.問12	2	0.8	○		
				4.問13	2	0.8		○	
				4.問14	2	1.6	○		

小問(単位問)別平均点 〈地理〉

地理

受験者数： 11235 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	地形・気候と自然災害	25	7.5	1.問1.1	2	0.3	○						
				1.問1.3	2	0.5	○						
				1.問1.8	2	0.8	○						
				1.問1.9	2	0.6	○						
				1.問2.1番号	1	0.8	○						
				1.問2.2地形名	1	0.5	○						
				1.問3	4	1.1	○						
				1.問4	3	0.5			○				
				1.問5(1)	3	0.2			○				
				1.問5(2)	2	1.4	○						
				1.問5(3)	2	0.3	○						
				1.問6	1	0.6			○				
				2	エネルギー・鉱産資源と環境問題	25	10.5	2.問1(1)A	1	0.7		○	
								2.問1(1)B	1	0.5		○	
								2.問1(2)ア	2	0.5		○	
								2.問1(2)イ	2	0.6		○	
								2.問1(3)	1	0.6	○		
2.問2.D	2	0.9	○										
2.問2.E	2	0.7	○										
2.問3.1i1記号	1	0.4	○										
2.問3.1i2用途	1	0.4	○										
2.問3.1ii1記	1	0.5	○										
2.問3.1ii2用	1	0.7	○										
2.問3(2)	2	0.9	○										
2.問4(1)サ	1	0.8						○					
2.問4(1)シ	2	0.4	○										
2.問4(1)ス	2	0.6	○										
2.問4(2)	3	1.1							○				
3	生活文化、国家・民族	25	8.5					3.問1.C	1	0.7		○	
				3.問1.D	1	0.6		○					
				3.問1.E	1	0.7		○					
				3.問2.1	2	0.6			○				
				3.問2.2	2	0.8			○				
				3.問3(1)H	2	0.4	○						
				3.問3(1)I	2	0.1	○						
				3.問3(2)	2	0.8			○				
				3.問4.イ	1	0.3			○				
				3.問4.ウ	1	0.7	○						
				3.問4.オ	1	0.3	○						
				3.問4.カ	1	0.4	○						
				3.問5(1)	2	0.6	○						
				3.問5(2)	2	0.6	○						
				3.問6.M	2	0.3			○				
				3.問6.N	2	0.4			○				

小問(単位問)別平均点 〈地理〉

地理

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
4	ヨーロッパとその周辺の総合地誌	25	6.5	4.問1(1)1場所	1	0.3	○		
				4.問1(1)2成因	1	0.6	○		
				4.問1(2)1場所	1	0.3	○		
				4.問1(2)2成因	1	0.5	○		
				4.問2(1)I	1	0.4	○		
				4.問2(1)II	1	0.4	○		
				4.問2(2)	1	0.3	○		
				4.問2(3)	2	0.8	○		
				4.問2(4)1	2	0.2	○		
				4.問2(4)2	2	0.1	○		
				4.問3(1)i	1	0.3			○
				4.問3(1)ii	1	0.4			○
				4.問3(2)	3	0.7			
				4.問4(1)B	2	0.1	○		
				4.問4(1)C	2	0.1	○		
				4.問4(2)X	1	0.5			○
				4.問4(2)Y	1	0.4			○
4.問4(3)	1	0.3			○				

小問(単位問)別平均点〈倫理〉

倫理 受験者数： 4488 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	国際化と倫理的課題	24	10.1	1. 問1	2	0.4	○		
				1. 問2(1)2	2	1.2	○		
				1. 問2(1)3	2	1.3	○		
				1. 問2(2)	2	1.1		○	
				1. 問3(1)	2	1.5	○		
				1. 問3(2)	1	0.1	○		
				1. 問4	2	0.2	○		
				1. 問5	2	1.8		○	
				1. 問6	2	0.4		○	
				1. 問7	1	0.1	○		
1. 問8	2	0.8	○						
1. 問9	2	0.4	○						
1. 問10	2	0.7	○						
2	東西の源流思想	26	8.3	2. 問1(1)	2	0.9		○	
				2. 問1(2)1	2	0.1	○		
				2. 問1(2)2	2	0.7	○		
				2. 問2	1	0.2	○		
				2. 問3	2	0.7	○		
				2. 問4(1)	2	0.4		○	
				2. 問4(2)	1	0.4	○		
				2. 問5	2	0.6	○		
				2. 問6(1)	2	0.4			○
				2. 問6(2)	1	0.1	○		
2. 問6(3)	2	0.8	○						
2. 問7(1)	2	0.5	○						
2. 問7(2)	1	0.4		○					
2. 問7(3)	2	1.2	○						
2. 問8	2	0.8		○					
3	日本の近現代思想	24	6.7	3. 問1	2	0.8		○	
				3. 問2	1	0.1	○		
				3. 問3(1)	1	0.3		○	
				3. 問3(2)	2	0.1	○		
				3. 問3(3)	2	0.1	○		
				3. 問4	2	0.9	○		
				3. 問5	2	1.1		○	
				3. 問6	1	0.2	○		
				3. 問7(1)	2	0.3	○		
				3. 問7(2)	2	0.4	○		
3. 問8	1	0.4		○					
3. 問9	2	0.2	○						
3. 問10.3	2	0.9	○						
3. 問10.4	2	1.0	○						

小問(単位問)別平均点〈倫理〉

倫理

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
4	西洋の近現代思想	26	7.8	4. 問1.1	2	0.6	○		
				4. 問1.2	2	0.3	○		
				4. 問1.3	2	0.6	○		
				4. 問2(1)	2	0.6	○		
				4. 問2(2)	2	0.6	○		
				4. 問3	2	0.8		○	
				4. 問4	2	0.1			○
				4. 問5	2	0.6	○		
				4. 問6	2	0.7	○		
				4. 問7	1	0.1	○		
				4. 問8	1	0.3	○		
4. 問9	2	0.4	○						
4. 問10	2	1.3		○					
4. 問11	2	0.8		○					

小問(単位問)別平均点 (政治経済)

政治経済 受験者数： 29618 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	日本国憲法をめぐる諸問題	20	8.5	1.問1	2	1.7		○					
				1.問2	1	0.5		○					
				1.問3	1	0.3	○						
				1.問4	1	0.1	○						
				1.問5(1)	2	0.3		○					
				1.問5(2)	1	0.3		○					
				1.問6	2	0.7		○					
				1.問7.2	1	0.4	○						
				1.問7.3	1	0.6	○						
				1.問7.4	1	0.5	○						
				1.問8	2	1.4	○						
				1.問9(1)	2	0.3		○					
				1.問9(2)	1	0.9	○						
				1.問10	2	0.6		○					
				2	国民福祉の現状と課題	20	7.7	2.問1	2	0.5	○		
								2.問2	2	0.8	○		
								2.問3	1	0.1		○	
2.問4	2	0.7	○										
2.問5	1	0.5						○					
2.問6	1	0.3						○					
2.問7.2	2	0.6	○										
2.問7.3	2	1.4	○										
2.問8	1	0.4						○					
2.問9	1	0.6						○					
2.問10	2	0.7							○				
2.問11	2	0.3	○										
2.問12	1	0.8		○									
3	戦後の国際政治と日本外交	20	8.2	3.問1.1	1	0.2	○						
				3.問1.2	1	0.2	○						
				3.問1.3	1	0.3	○						
				3.問2	1	0.3	○						
				3.問3	2	1.0		○					
				3.問4	2	1.0		○					
				3.問5.a	1	0.5	○						
				3.問5.b	1	0.5	○						
				3.問6	2	0.7		○					
3.問7	2	0.7	○										
3.問8(1)	2	1.0	○										
3.問8(2)	2	1.2		○									
3.問9	2	0.4	○										

小問(単位問)別平均点 (政治経済)

政治経済

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
4	戦後の国際経済	20	7.2	4.問1	1	0.6	○		
				4.問2(1)	1	0.2	○		
				4.問2(2)	2	0.5		○	
				4.問3	2	0.4			○
				4.問4(1)	1	0.8	○		
				4.問4(2)	1	0.0	○		
				4.問5	2	0.7		○	
				4.問6	2	0.7		○	
				4.問7(1)	1	0.2	○		
				4.問7(2)	1	0.4	○		
5	現代世界の諸問題	20	6.6	5.問1(1)	2	1.1	○		
				5.問1(2)	2	0.1		○	
				5.問2	1	0.5	○		
				5.問3(1)	1	0.3	○		
				5.問3(2)	2	1.6		○	
				5.問3(3)	2	0.8		○	
				5.問4(1)	1	0.0	○		
				5.問4(2)	1	0.2	○		
				5.問4(3)	2	1.0		○	
				5.問4(4)	2	0.3		○	
5.問5	2	0.4		○					
5.問6	2	0.2	○						

数 学

【数学 I 型】

典型問題を確実に解き切る力を養おう！

① (3) 2次関数

2次不等式がつねに成り立つ条件を考察する問題

数学の実力を高めていくには、基本事項・基本概念をしっかりと定着させ、典型問題で問われるテーマを確実に身につけ、計算力を養うことが重要である。実際の入試においても、難しい問題での出来より、頻出のテーマを含む問題での出来が大きな差になることが多い。また、典型問題を確実に解き切る力があれば、それをもとに応用的な問題を解き進めていくことができる場合が多い。

(3)は(i)で2次不等式を解き、(ii)では(i)で求めた範囲において与えられた2次不等式がつねに成り立つ条件を考察する問題である。2次関数の分野での典型問題であり、基本事項がしっかり定着していれば、ある程度の得点が期待できる。実際白紙の答えは少なかったが、得点に結びついているかという観点で見ると差のついた問題である。

(i)の出来はよかった。因数分解し2次不等式を満たす x の範囲を求めている答案が多かった。グラフを利用して考察している答案も見られ、2次不等式の解き方は習得できていると思われる。(ii)は、 $f(x) = x^2 + 2x - a^2 + 2a - 11$ に対して、区間 $1 \leq x \leq 3$ でつねに $f(x) \leq 0$ が成り立つ a の値の範囲を求める設問である。(i)と同様に $y = f(x)$ のグラフを利用して考察すればよいが、文字定数 a が含まれているためか、出来はよくなかった。放物線 $y = f(x)$ の軸は $x = -1$ であるから、 $1 \leq x \leq 3$ における $f(x)$ の最大値は $f(3)$ となり、 $f(3) \leq 0$ を満たす a の値の範囲を求めればよい。グラフを利用せず、 $f(1) \leq 0$ 、 $f(2) \leq 0$ 、 $f(3) \leq 0$ の3つの不等式を考えて、 $f(1) \leq 0$ を満たす a の範囲を求める段階で行き詰まっている答案が多く見られた。また、 $f(3) \leq 0$ が成り立てばよいことが理解できていても、 $f(3) = 0$ となる a の値 ($a = 1 \pm \sqrt{5}$) を求める段階で計算ミスをしている答案が散見された。

実際の入試においても、グラフを利用して不等式を考察する問題は多く見られ、基本概念が定着していれば高得点が期待できる。典型的な問題で問われていることを正確に判断し、計算を正しく遂行できる力を身につけておこう。

学 習 対 策

ここでは、教科・科目ごとにポイントとなる問題を取り上げ、その問題の概要と正解を導くために必要な力についてコメントをしています。今後の学習のアドバイス等も記してありますので、自分が受験した教科・科目を確認して復習に役立てましょう。

なお、設問別アドバイス、採点基準、学力要素一覧表は  **模試ナビ** 河合塾 全統模試 学習ナビゲーター に掲載していますので、確認してください。

英 語

動詞と前置詞の関係を見抜こう！

第4問 長文読解問題

語法を正確に把握し、和訳する問題

問2は、accept O as C「OがCであると認める、OがCだとして受け入れる」という表現を見抜けたかどうかで大きく差のつく問題だった。accept O as Cは、regard O as C「OがCだと見なす」や define O as C「OをCと定義する」などと同様、asを使った重要な表現である。この形を見抜くことができず、as a way forwardと as a driving force of progress and innovationのandによる並列の構造を取り違えた結果、大きく失点してしまう答案が少なからず見られた。動詞と前置詞の結びつきを見抜く問題は多くの大学で出題されており、大きく差のつくポイントになっていると思われる。和訳問題で前置詞を見かけたときは、動詞とセットで使われていないかチェックするようにしたい。また、日ごろの長文の学習でも、動詞と前置詞がセットで使われているときはマークするなどしながら、入試本番まで地道に知識を増やしていこう。

解答の根拠の箇所を見つけ、丁寧に解釈しよう！

第5問 長文読解問題

解答の根拠の箇所を見つけ、その内容を正確にまとめる問題

問4は That の指すものを日本語で具体的に書く問題である。解答の根拠となる箇所は直前の文であり、比較の見つけやすかったと思われる。もっとも、particle「粒子」や absorb「吸収する」、scatter「散乱させる」の意味がわからず、あるいは、それらの語の文脈に即した解釈ができずに、失点してしまう答案も多かった。今回の問題のように、根拠の箇所が比較的わかりやすい問題は、その箇所の正確な解釈が差のつくポイントとなることが多い。周りの文脈に照らして、一語一語丁寧に解釈するよう心がけたい。また、上で挙げた単語はいずれも、試験本番にはぜひとも覚えておいてほしいものばかりである。今回間違えてしまった人は、この機会にすべて覚えてしまおう。試験本番までまだ時間は残っている。語彙知識のブラッシュアップをコツコツ続けてほしい。

国語

【現代文】

記述問題では、文脈の確認も行おう

第二問 問四

傍線部の内容を説明する問題

内容説明問題では、傍線部の内容を踏まえた上で、傍線部に対応させて答案を作成する。その際、傍線部の前後の文脈を確認する必要がある。本問は、「ブラック・パワー的な動乱」、「その人工性」がそれぞれどういうことかを明らかにして(a・bポイント)、前者が後者を「暴いていく」という関係を示さなければならない(cポイント)。

答案でaを「ベン(の暴力)」に特定した書き方が目立ったが、これは傍線部2の直後にある「この両者を体現したベンという存在」の部分的な説明であって、傍線部2「ブラック・パワー的な動乱」そのものの説明ではない。「体現」とは〈抽象的なものを具体的な形としてあらわすこと〉という意味であるから、この場合、「ベンという存在」が〈具体的な形〉にあたり、傍線部2は彼によって示される〈抽象的なもの〉にあたる。したがって、aを「ベン」に特定して説明するのは文脈にそぐわない書き方なのである。本問では、傍線部に続く直後の文脈を確認することで、書くべき内容と書くべきではない内容とを判断することができた。

また、傍線部2と第二段落後半の内容がつながっていることを読み取れば、bの説明がより充実したものになったはずである。答案作成の際に傍線部の前後の内容を漠然とまとめる、といった書き方を卒業しよう。的確で充実した説明を目指して、今後の訓練を積み重ねていってほしい。

【古文】

行動の理由は、状況+思考・心情を説明する

第三問 問二

人物の行動の理由を説明する問題

行動の理由を説明する際には、A〈状況の説明〉とB〈思考・心情〉を読み取り、わかりやすくまとめる。

傍線部を含む一文を、過去の助動詞「き」に留意して整理すると、
〈春日にて見給ひしか(=かつて、春日大社で忠こそを見た)〉か

【数学Ⅲ型】

体積求める基本を確認しよう！ 定積分の計算力を高めよう！

4 積分法

定積分を用いて回転体の体積を求める問題

本問は曲線や直線で囲まれる部分をx軸のまわりに1回転してできる立体の体積を求める問題である。

(1)は曲線 $C_1: y=e^{\log x}$ とx軸で挟まれる部分を回転させるので、求める体積(V_1)を定積分で立式する部分は大変よくできていた。それに対し、(2)は(1)の場合と同じくx軸まわりの回転体ではあるが、求める体積(V_2)の立式は非常に出来が悪かった。この問題では(2)で求めた円 $C_2: x^2+(y-2e)^2=2e^2$ の下半分の弧とx軸で挟まれる部分の回転体を考えることになるのだが、その円弧がよくある問題のように $y=f(x)$ の形で表されていないことが V_2 の立式の出来に大きく影響したようである。 C_2 の方程式を y について解き、「2つの曲線 $y=2e+\sqrt{2e^2-x^2}$ と $y=2e-\sqrt{2e^2-x^2}$ をつなぎ合わせたものが円 C_2 である」という認識がほしいところで、これにより、 C_2 の下半分の弧は「関数 $y=2e-\sqrt{2e^2-x^2}$ のグラフ」とみなせる。入試問題においても、曲線の方程式が $f(x, y)=0$ の形で与えられることがしばしばあるので、このようなケースにも対応できるようにしてほしい。

一方で、体積の立式ができていたとしても、(1)、(2)ともにその後の定積分の計算は非常に出来が悪かった。

(1)では $\int_1^e (\log x)^2 dx (=I_1)$ 、(2)では $\int_0^e \sqrt{2e^2-x^2} dx (=I_2)$ の計算になる。「ただ計算するだけ」ではあるが、面積や体積の問題では定積分の計算を最後までやり通すことができるかどうかで大きく得点に差がついてしまう。 I_1 は部分積分法を要する典型的な定積分であるから確実に得点したいところであった。 I_2 に関しても、

「 $\sqrt{a^2-x^2}$ を含む積分では $x=asin\theta$ ($-\frac{\pi}{2} \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$) とおく」という、定石に従うもので、これも置換積分法の典型である。今回は関数に自然対数「e」を含んでいるためにこのタイプのものであることに気付いていないであろう答案が多く見られたのは残念であった。この計算に対しては「学習の手引き」に別解も記載してあるのでよく復習してほしい。

入試問題において、積分法中心の問題は、「定積分の計算がメイン」となる問題も多い。日々の計算練習で確実に力をつけることが可能である。面倒な計算であってもしっかりと手を動かして鍛錬してほしい。

【数学Ⅱ型】

問題を正しく理解し、計算や証明を丁寧に実行しよう！

2 微積分総合

曲線で囲まれた2つの部分の面積を考察する問題

本問は、2つの放物線 C_1 と C_2 で囲まれた部分の面積 S_1 と、 C_2 と直線 $x=a$ とx軸で囲まれた部分の面積 S_2 を求め、 $S_1=S_2$ となる a の値を考察する問題である。(1)、(2)(i)は基本的な計算問題であったが計算ミスが目立ち、特に(2)(i)で差がついた。(2)(ii)は $S_1=S_2$ となる a の値についての証明問題であったが、説明不十分な答案が多く見られた。マーク式と違い、記述式では証明問題も多く出題されるため、不備のない丁寧な証明を書けるように練習してほしい。

以下、個々の設問について細かく見ていこう。

(1)は C_1 、 C_2 の方程式を連立し、 $k=\frac{2}{a}-1$ を求め、不等式 $\frac{2}{a}-1 > 0$ を解いて a の値の範囲を求めればよい。不等式を解く際に、 a の正負を考えずに、両辺に a を掛けて $a < 2$ としている答案が散見された。不等式の両辺に数や文字式を掛けるときは、その正負によって不等号の向きが変わることに注意して処理してほしい。

(2)(i)は定積分を用いて S_1 、 S_2 を求めればよい。しかし、問題を読み間違えて違う部分の面積を求めていたり、

$$\text{定積分の公式 } \int_a^\beta (x-a)(x-\beta) dx = -\frac{1}{6}(\beta-a)^3$$

の使い方を間違えていたりなどのミスが目立ち、大きく差のついた問題であった。入試本番では、このような典型的な計算問題でのミスが合否に大きく影響するため、間違えた受験生は解き直して正しい計算方法を身につけておいてほしい。

(2)(ii)は $S_1=S_2$ となる a の値がただ1つ存在し、 $1 < a < \frac{6}{5}$ を満たすことを示す問題である。「学習の手引き」の【解答】では $f(a)=S_1-S_2$ とおき、 $u=f(a)$ のグラフと a 軸の交点を調べている。このとき、 $f(a)$ が単調増加であることと $f(1) < 0$ 、 $f(\frac{6}{5}) > 0$ であることの3つがすべて示されていればよいが、 $f(1)$ と $f(\frac{6}{5})$ の符号を確認しただけの答案が多く見られた。これだけでは、 a が「1つだけ存在」であることを示したことはならない。自分の証明で示すべき状況が実現されているか、他の異なる状況が含まれることはないのかを確認する習慣をつけよう。

ら、目の前の修行者は忠こそだと思うが、〈恥ぢかしこまりし(=あの時、忠こそは恥じ恐縮していた)〉ことを思っ、今も忠こそは〈いみじう思へる(=たいそう思っている)〉と見るので、知らないふりをする。

となる。つまり、かつて春日大社で対面した際、忠こそは恥じ恐縮していたが、今も同じようだから、知らないふりをしたというのである。しかし、「かつて今も忠こそが恥じ恐縮しているから」では、大将が知らないふりをした理由説明としては不十分である。

実は、第三段落の冒頭で、大将は帝に対して、「春日大社での忠こそは、『自分がこの世に生きていたと帝に聞かれたくない(→知られたくない)』と恥じ恐縮していた」と説明している。つまり、大将は、A〈春日大社の時と同様に恥じ恐縮している忠こそ〉は、B〈今も「自分が生きていたと帝に知られたくない=正体を知られたくない」と思っているのだろうと推測した〉から、知らないふりをしたのである。解答は、A+Bを基本に、わかりやすくまとめよう。

【漢文】

各語の意味を押さえ、注にも気をつけて、指示語の内容を明らかにしてわかりやすく訳すこと

第四問 問三 現代語訳の問題

「然(しかれども)」は、逆接なので「しかし・けれども」の意味、「自(みづから)」は「自分で・自分から」の意味、「即(すなはち)」には「とりもなおさず」という意味もあるが、文脈から「すぐに」の意味、「能(よく)」は「～できる」の意味であることをまずは押さえる。「短屈」には「考えが浅はかきで道理に合わない」と注が付いているので、そのまま使用すればよい。「之に従ふ」の「之に」は文脈から、「その人(=言い争った相手)の意見に」を指すと読み取ること。「之(これ)」や「其(その)」といった指示語を含む場合は、指示内容を必ず明らかにして現代語訳することが大切である。以上から「しかし人と物事の道理をめぐって言い争って、自分の考えが浅はかきで道理に合わないとなると、すぐにその人の意見を聞き入れることができました」と訳せばよい。なお「道理を争ひて」と読んでいて「道理をめぐって言い争って」と訳せばよいのであり、「～言い争った時に」や「～言い争っても」などと勝手に接続を変えて訳したりしないように気をつけること。

理 科

【物理基礎】

等加速度直線運動の公式と位置－時間のグラフ($x-t$ 図)、速度－時間のグラフ($v-t$ 図)を関連させて整理しておこう

第1問 問2～問6

$x-t$ 図から $v-t$ 図を描き、加速度と移動距離(変位)を求める問題

等加速度直線運動の速度を表す公式 $v=v_0+at$ を使用する際は、傾きが a 、 v 切片が初速度 v_0 の直線の式であることを関連させておく必要がある。また、 $v-t$ 図の直線と時間軸 t で囲まれた面積が、その間の物体の移動距離(変位) x を表すことも、同時に関連させながら思考することが大切である。さらに、変位を表す公式 $x=v_0t+\frac{1}{2}at^2$ は、縦軸を位置 x 、横軸を時間 t とする $x-t$ 図では、 x が t の2次関数(放物線)となる。そのグラフの接線の傾き $\frac{\Delta x}{\Delta t}$ が瞬間の速度を表すから、グラフが下に凸のときは速度は増加しており、加速度は正である。上に凸のときは速度は減少しているため、加速度は負である。この認識があれば、 $x-t$ 図のグラフで下に凸から上に凸に変わる時刻が、加速度の向きが変わる時刻であると判断できる。グラフの頂点では $\frac{\Delta x}{\Delta t}=0$ よりそれ以降の時間では速度の向きが変わるため、 x 座標の最大値や時刻を読みとることができる。

以上のように、単に等加速度直線運動の公式を丸暗記するのではなく、それらの式が $x-t$ 図や $v-t$ 図とどのように関連しているかを確認しながら運動を考察できるようにしよう。

そして、時間と時刻の区別を明確にしておく必要がある。時間とは、時刻と時刻の間、つまり時刻の差であるということを再度確認しておこう。

【物理】

問題文を丁寧に読んで、誘導にしたがって解いていこう！

第1問 問4、問5 単振動

運動する三角柱形の物体Pと落下してきた小球との衝突

大学入試の物理では、受験生としては初めて見る問題が多く出題される。ただし、初めて見る問題といっても、問題文にヒントがあったり、設問が誘導になっていることがほとんどである。問4、問5はそのような問題を想定して出題した。まずは、問題文を丁寧に読んで、状況を正確に把握できただろうか。いくら物理の知識をもっていても、問題の状況が把握できなければ正解することは不可能である。問題文を正確に読み取ることも、物理の学習の一環だと考えて欲しい。

この問題の物体Pと小球との衝突は、まず、小球と物体Pが弾性衝突をし、その後、物体Pが水平面と完全非弾性衝突すると考えられる。受験生がこのような考えから逸脱しないように、誘導がつけてある。

まず、問4では、一度目の衝突について、物体Pから見た小球の相対運動を考えるように穴うめ形式で誘導をつけた。これは、後半の問題である問7にも応用できるようになっている。入試問題でも穴うめ形式で出題される場合は、ヒントが多く書かれていたり、設問が誘導になっている場合が多い。また、衝突直前の小球の速度ベクトルが斜面BCと直交していることと与え、受験生がミスをしなくても気付けるようになっている。さらに、弾性衝突は反発係数が1の衝突であることを与え、衝突直後の小球の速度が求められるように誘導をつけた。次に、問5では、物体Pと小球についての水平方向の運動量保存則が成り立つことを与えた。

誘導を無視して解答したとみられる答案も見られたが、そのような受験生のほとんどは正解できていなかった。物体Pと小球についての力学的エネルギー保存則が成り立つ前提で解答している答案もあったが、一度目の衝突後、物体Pは鉛直方向にも速度成分をもつが、二度目の衝突では水平面と完全非弾性衝突をし、速度の鉛直成分が0になる。よって、力学的エネルギーは減少し、保存しない。

入試本番が刻々と近づいているが、問題文を丁寧に読んで、状況を正確に把握すること、誘導にしたがって解いていくことを意識して、過去問演習を進めて欲しい。

【化学基礎】

情報を整理し、的確に表現する力を身に付けよう！

第2問 問5(5) 逆滴定

NH₃ 吸収後に残った HCl を NaOH 水溶液で滴定することで、NH₃ の物質量を求める問題

“新入試”を突破するために身に付けなければならない学力要素に「思考力・判断力」と「表現力」がある。現段階で、これらの力がどの程度身に付いているかを確認するために計算過程を記す問題を出題した。

正しく計算過程を書けている答えは少なく、さまざまな減点のパターンがあった。以下に代表的な例を示すので、復習の際に参考にしてほしい。

解答例および講評に記した(例1)、(例2)の過程とは異なる場合、次のように部分点を与えた。

- ・ HCl の物質量を求めている、または、求める式を書いている、1点を与えた。
- ・ NaOH の物質量を求めている、または、求める式を書いている、1点を与えた。

ただし、次の(例3)、(例4)のように、**化学的な誤りがある場合は、1箇所につき1点を減点した(0点を下限とする)**。

$$\text{(例3)} \quad 0.50 \times \frac{50.0}{1000} + x [\text{mol}] = 0.50 \times \frac{20.0}{1000}$$

$\frac{\text{HClの物質量}}{\text{(部分点1点)}}$ と $\frac{\text{NaOHの物質量}}{\text{(部分点1点)}}$ を求める式は正しいが、

波線部に明らかな誤りがある。
(1点減点)

→ 計算過程として、1点を与えた。

$$\text{(例4)} \quad x [\text{mol}] = 0.50 \times \frac{50.0}{1000}$$

$\frac{\text{HClの物質量}}{\text{(部分点1点)}}$ を求める式は正しいが、

x を HCl の物質量と誤用している。
(1点減点)

→ 計算過程は0点である。

本問のように、計算過程を書いたり、グラフを描いたりする力は“新入試”で求められる力の一つである。丁寧に復習をしておこう。

【化学】

有機化合物の構造決定の問題を攻略しよう！

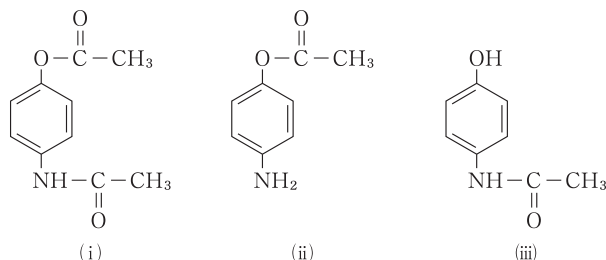
第2問 I

芳香族エステル構造決定に関する問題

有機化学の構造決定の問題は、二次・私大の入試で頻出である。構造決定を攻略することは、二次・私大の入試で高得点をとることに直結する。逆に構造決定ができなければ、大きな失点になってしまう。そこで、今回は第2問Iの構造決定の解き方について詳しく述べる。

まず、芳香族ニトロ化合物の還元を行う際、実験室ではスズと濃塩酸が用いられる。例えば、ニトロベンゼンにスズと濃塩酸を加えて加熱し、さらに水酸化ナトリウム水溶液を加えるとアニリンが得られる。一方、工業的には、触媒を用いてニトロベンゼンを水素で還元してアニリンを製造している。以上の知識があれば、触媒の存在下で化合物Bを水素で還元して得られる芳香族化合物Cは、化合物Bのニトロ基-NO₂がアミノ基-NH₂に変化した構造だとわかる。

化合物Cが無水酢酸を作用させてアセチル化する場合、化合物Cがアミノ基-NH₂およびヒドロキシ基-OHをもつことから、得られる化合物の候補は次の3つが考えられる。



塩化鉄(III)水溶液で呈色することから、Xはフェノール性ヒドロキシ基をもつ(iii)に決まる。

構造決定の問題は、序盤でつまずくと失点が大きくなってしまいがちである。今回も、化合物Cの構造が決まらなければ化合物Xの構造を考えることができない。模試は設問どうしの連動によって失点が大きくなり過ぎないように考慮して作成しているが、入試本番ではそのような考慮は少なく、出だしてつまずくと大問一つが0点ということもあり得る。基本的な知識を確実に覚えるとともに、元素分析などによる分子式の決定などはミスのないように慎重に解いてほしい。

【生物基礎】

問題文から情報を正確に読み取り設問に即して解答しよう

第2問 問5

健康なヒトと副腎皮質に異常があるヒトのそれぞれについて、薬剤Y投与後の糖質コルチコイドの分泌量の変化を考察する問題

第2問の問5は、解答用紙はかなり埋められていたものの、得点率が低い設問であった。まず、(1)では、ヒトPは「副腎皮質の異常により、ACTH(副腎皮質刺激ホルモン)の作用とは無関係に糖質コルチコイドが過剰に分泌されている」ことから、ヒトPでは、血中の高濃度の糖質コルチコイドが脳下垂体前葉に作用してACTHの分泌を抑制することにより、ACTHの濃度が低くなっていることを考察する。(1)で得点できなかった場合、(2)の得点はかなり難しいと思われる。(1)で得点できなかった場合、ホルモンを扱った問題の演習を行おう。(2)では、「糖質コルチコイドは体内で分解され、物質Xとなって尿中に排出される」という情報とともに、「糖質コルチコイドと同じ作用を持つが体内で分解されにくい薬剤Y」という情報が与えられ、これらの情報の整理が難しい。最も難しいと思われるのは、薬剤Yが糖質コルチコイドと同様に脳下垂体前葉に作用してACTHの分泌を抑制することを読み取ることであり、健康なヒトでは薬剤Yの投与により副腎皮質からの糖質コルチコイドの分泌が抑制され、尿中の物質Xの濃度は低下すると考えられる。一方、ヒトPでは、ACTHの分泌が抑制されても、それと無関係に糖質コルチコイドの分泌が起こるため、尿中の物質Xの濃度は変化しないと考えられる。変化しないという結論は解答しにくかったと思われるが、薬剤Y→脳下垂体前葉→ACTH→副腎皮質→糖質コルチコイドという流れをしっかりと踏まえて考察しよう。また、この設問では、「投与前と比較して」「それぞれどのようになるか」と問われており、「健康なヒトでは○○、ヒトPでは△△。」という解答になるはずであるが、「ヒトPでは健康なヒトより□□。」という解答がある程度あった。論述形式の問題では、設問の問いかけに即して解答しなければ得点できないので、今後の問題演習の際に、何がどのように問われているかを注意する習慣を身につけてほしい。

【生物】

問題文の情報を丁寧に読み取ろう

第3問 問5(3)

ボンベイ型のヒトがどの血液型と判定され、そのヒトにO型の赤血球を輸血すると凝集反応が起こる理由を論述する問題

この問題は、赤血球の表面にO型抗原がまったくつくられない「ボンベイ型」とよばれる希少な血液型のヒトに、血清を用いた血液型の判定を行うと何型と判定されるかを問ひ、さらに、実際に判定された血液型(実際はO型と判定される)の赤血球を輸血すると凝集反応が起こる理由を論述する問題である。本問の特徴は、リード文中にさまざまな情報が書かれており、それをもとに考えると比較的容易に答が出るようになっていることである。リード文には、O型抗原をもたないA型抗原とB型抗原がつくられ、それぞれの抗原をもつ場合に血液型が何になるかが説明されており、血しょう中に自身もたない抗原に対する抗体が存在することも説明されている。さらに、A型のヒトの例をあげて、具体的にどのような抗原が非自己成分とみなされて抗体が産生されるかも書かれている。これに従えば、O型抗原をもたないボンベイ型のヒトは、A型抗原もB型抗原ももたないのでO型と判定され、さらに、自己もたないO型抗原に対する抗体が血しょう中に存在することがわかるので、O型の赤血球が輸血されると凝集反応が起こることも説明できる。このように、問題文の中にほとんど答に近い内容が記されているのは、生物の入試問題では日常茶飯事ともいえ、問題文を読んでそこから正確に情報を抽出する読解力は、生物の正確な知識とともに、入試で必要とされる重要な能力の1つである。これを一朝一夕で身につけるのは難しいが、模試だけでなく普段の問題演習などにおいても正確に読む練習はできるはずである。まずは丁寧に読む意識づけが重要になるので、これからの入試本番までの残された期間、常に「きちんと読む」ことを心がけて頑張っていって欲しい。

【地学基礎】

問われた内容を正しく把握し、的確に論述する力を身につけよう

第1問 問4

外核と内核の状態を温度と融点の関係に触れながら論述する問題

本問は、地球中心部の核(外核・内核)の状態について、温度と融点の関係に触れながら40字以内で論述する問題である。

① 外核・内核それぞれの状態が問われているので、まずは「外核－液体」「内核－固体」の対応を両方とも正しく記す必要がある。

② その上で、「温度と融点の関係について触れながら」という条件をふまえて、液体・固体の状態の理由を述べることになる。物質が液体のとき、物質の温度はその物質の融点を上回っている。一方、物質が固体のとき、物質の温度はその物質の融点よりも下回っている。したがって、外核では「温度>融点」の関係、内核では「融点>温度」の関係になっていることを記せばよい。

以上、①・②をまとめれば正解の解答文ができあがる。なお、今回は、①が正しく書けていなければ②は採点の対象とならない。

以下では解答文の例を挙げて、採点上のポイントを見ていきたい。

A「外核では融点を超えるため液体の状態であり、内核では融点を超えないため固体である。」

外核・内核の状態については正しく書けているが、その理由を「融点」のみで説明している。ここでは温度と融点の大小関係をしっかりと述べてほしいところであるが、「融点を超える」の表現から温度と融点の関係を理解していると思われるため、理由も正しいとみなしている。よって、Aは①・②のどちらも満たし満点となる。

B「外核は内核よりも温度が高いので液体であり、内核は固体である。」

外核・内核の状態は正しく書けている。しかし、単に「温度が高い」だけでは液体であることの説明にならないため、理由に対する点数は与えられない。なお、地球内部の温度は「内核>外核」であるので、この点でも誤っている。よって、Bは①のみの部分点となる。

C「外核は液体のため温度が融点よりも高く、内核はその逆である。」

外核については状態・理由ともに正しいが、内核については「その逆」が何を指しているのかが不明確であり、必ずしも「内核－固体」とは読み取れない。よって、Cは①・②とも満たさず無得点となる。

【地学】

公式や法則を理解し、与えられたデータを用いて計算して正確な解答を導き出せるよう演習しておこう

第5問 問3(3)

問題文と表のデータから連星の質量を算出し、解答を正確に示す

連星、それぞれの質量を求めるのに必要なのは、まず「ケプラーの第三法則」である。問題文にあるように、連星の平均距離(a)を天文単位、公転周期(P)を年、質量 M_A 、 M_B を太陽質量で表したとき、

$$\frac{a^3}{P^2} = \frac{G}{4\pi^2} (M_A + M_B)$$

の関係が成り立つ。この式は覚えておかなければならない式である。ここで、問題文で与えられた単位を使用すると、 $G=4\pi^2$ となるので、上式は

$$\frac{a^3}{P^2} = M_A + M_B$$

となり、(2)で求めた平均距離24天文単位、表1より公転周期96年を代入して、 $M_A + M_B$ は、

$$\frac{24^3}{96^2} = \frac{(2^3 \times 3)^3}{(2^5 \times 3)^2} = \frac{3}{2} = 1.5 \quad \therefore M_A + M_B = 1.5 \quad \cdots \textcircled{1}$$

と求められる。このとき、累乗の計算は煩雑で敬遠されがちであるが、素因数分解してから解くと、約分によってスムーズに簡素な数値で示すことができる。

さらに、恒星Aと恒星Bの質量比は、それぞれの恒星の共通重心からの距離 r_A 、 r_B との間に、 $M_A \cdot r_A = M_B \cdot r_B$ の関係があることを利用して求める。今回の問題では、最小距離の比(または最大距離の比)が、 $r_A : r_B = 6.8 : 13.6 (= 9.2 : 18.4) = 1 : 2$ より、

$$M_A : M_B = 2 : 1 \quad \therefore M_A = 2M_B \quad \cdots \textcircled{2}$$

と求められる。これより、式①と式②の連立方程式を解いて、

$$M_A = 1 \quad M_B = 0.5 \text{ (太陽質量)} \text{ が決定する。}$$

最後に気をつけることは、「有効数字2桁」という解答の条件である。計算がここまで進められていて、有効数字が正確に表されていないために減点される答案は多い。この問いでは、

$$M_A = 1.0 \text{ (太陽質量)}, M_B = 5.0 \times 10^{-1} \text{ (太陽質量)} \text{ が正解である。}$$

有効数字の示し方を正確に把握しておきたい。

地理歴史

【世界史】

問題文が求める意図に従って解答を作成しよう

第1問 問6

第2 インターナショナルについての短文論述問題

今回の模試では短文の論述問題を2題出題した。大学入試では、思考力・判断力と表現力を試す問題として、20字から100字程度の論述問題の出題が近年増加している。こうした問題は、問題文をよく読み、出題者の意図に対して必要な語句や説明を考えることで解答することができる。しかし、実際には白紙の答案も多い。論述問題であるというだけで、後回しにして結局解答できなかった人も多いのではないだろうか。まず問題文から、解答可能な箇所を見つけてみよう。

第1問の間6では、第2 インターナショナルについて90字以内で論述する問題を出題した。1889年にパリで結成された各国の社会主義政党と労働組合の連合組織について、「その名称」、「結成後の組織を主導した政党」、「崩壊に至った理由」を書くことが要求されている。まず、19世紀に結成された第1 インターナショナルと第2 インターナショナルの違いを確認しておこう。第1 インターナショナルはマルクスを中心にロンドンで結成され、パリ＝コミューン後に各国政府の弾圧を受け、組織内部での路線対立もあって1870年代に解散した。パリ＝コミューンが1871年の出来事なので、1889年に結成されたのは「第2 インターナショナル」であると判断できるだろう。これが分かれば、関連する知識として「ドイツ社会民主党」が主導したことも想起できる。そして崩壊に至った理由としては、第2 インターナショナルは帝国主義戦争に反対して反戦平和を訴えていたが、「第一次世界大戦の勃発」に際して「各国政党が自国の戦争遂行を支持した」ためであることを書けば、問題の要求をすべて満たしたことになる。

空欄補充問題や下線部設問の問題であれば、これらの事項に答えられたという人も多いだろう。論述問題では記述問題の解答を積み重ねるようにして解いていくことができる。思考力とは、段階を踏んで論理を展開する力である。問題を徹底的に読み、出題の意図を理解し、要求されているポイントを書き出し、文章としてまとめる。その作業を徹底することが重要なのである。恐れずに取り組んでみよう。

【日本史】

知識の正確な理解のもとに論述問題を解答しよう

第4問 問4

製糸業の特徴に関する短文論述問題

今回の模試では短文の論述問題を1題出題した。受験生諸君の答案をみると、白紙の答案や設問文から出題意図を読み取れていない答案、未消化な知識を羅列した答案が見られた。論述問題の解答では特殊な知識が必要なわけではなく、教科書で学習した知識を、歴史の因果関係をふまえて解答を構成すればよいのである。これからの大学入試では思考力・判断力・表現力の習得が問われており、日頃の学習で得た知識が正確に理解できているか否かを確認する意味でも、論述問題を実際に書き採点してもらうことが有効な学習法の一つなのである。

第4問の間4は、「紡績業と比較しつつ、原料・生産設備の面に見出せる製糸業の特徴」を問うた問題である。特徴を説明する視角として、「原料・生産設備」が設問文に提示されていることに注目してほしい。したがって、紡績業について原料として綿花、生産設備として紡績機(紡績機械)、製糸業について、原料として繭、生産設備として器械(器械製糸)を思い浮かべ、それがどのように調達されていたか、教科書で学習した知識をもとに比較して説明すればよいのである。すなわち、中国・インドからの輸入綿花と欧州製の紡績機を用いた紡績業と対比して、製糸業が国産の繭と国内で調達された器械製糸を用いた点を説明すればよい(ただし、輸入先・輸出先については、本問では解答に必須ではない)。その際、問われているのは製糸業の特徴なので、紡績業にばかり字数を使わないように注意したい。

答案では、原料について、紡績業の綿花は指摘できたが、製糸業では「蚕」とするなど知識習得が不確かな様子がみえる。生産設備では、紡績・製糸業ともに「機械」とした誤答が散見された。また、原料が安いかどうかといったコストに言及する答案や、原料の輸入先を詳細に説明する答案、原料のみ説明し生産設備について言及しない答案、あるいは製糸業のみ説明し、紡績業については全くふれない答案がみられた。これらは、設問文の要求を十分に満たしておらず、よくて部分点を獲得するにとどまっている。一方、「紡績業は原料・生産設備ともに輸入に依拠したのに対し、製糸業では原料・生産設備ともに国内で調達された」との答案もみられたが、原料・生産設備の名称を指摘したうえで、それぞれ国産、輸入、どちらで調達されたかを解答することがポイントなので、上記の答案例は不可とした。

【地理】

地図帳を活用し理解を深め、対応力を養おう

第1問 問3

大地形の分布を個別の場所を意識してチェックしよう

本問は、図1から古期造山帯に該当する地域を2つ選び、その記号と地名を答える問いである。大地形の分布を問う問題は定番であるうえ、早い時期に学習する内容であることから、第3回の本模試では正答率が高くなる傾向があるが、該当するD(アルタイ山脈)とF(タスマニア島)の2つをきっちりと選べた答案が以外にも少なかった。

図1では、A～Fのうち、2つが古期造山帯、4つが新期造山帯に該当していた。つまり、誤った人は新期造山帯を選んだことになる。新期造山帯は、いくつかの教科書で「ユーラシア大陸の南部をほぼ東西に走るアルプスヒマラヤ造山帯と、ロッキー山脈、アンデス山脈、日本列島を含む環太平洋造山帯とに二分される」、「アルプス山脈からヒマラヤ山脈にかけて～ユーラシア大陸南部をのびるアルプスヒマラヤ造山帯と、太平洋を囲むように分布する～環太平洋造山帯がそれにあたる」とある。当然、この説明は正しいが、それだけでは対応できなかったことになる。A(キューバ島)は太平洋沿岸でなく大西洋側にあり、B(南極半島)は図1では大西洋岸にあり(実際は太平洋にも面している)、C(アトラス山脈)はユーラシア大陸南部ではなくアフリカ北西部にあり、また、E(カムチャツカ半島)は環太平洋造山帯が日本列島からアラスカ半島に続く帯状地域から外れているとみなしたことなどから、これらを新期造山帯と判別できず、古期造山帯と誤ってしまった。実際、どのように考えたかは定かでないが、A、B、C、Eを誤って選んだ人がそれぞれみられた。教科書の本文を読んでわかった気にならず、その内容をふまえて地図帳の主題図で確認することが重要であると再認識しよう。本模試の解説などを参照し、大地形の分布を個別の場所を強く意識しながらチェックしておこう。なお地球上の陸地は、安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯の3つに分類できる。その分布は、まず新期造山帯を押さえたうえで、出題頻度の高い古期造山帯を整理し、残った地域を安定陸塊とするのがよいだろう。今後は、模試の復習にくわえ、過去問や問題集の演習に挑むことで、関連事項の総合的理解に努め、また、対応できなかったところや弱点を見つけ出し、その克服のため、地図帳や教科書の図表、統計資料などを活用しながら対策を図ろう。

公 民

【政治・経済】

日本国憲法をめぐる諸問題について押さえよう

第1問

日本国憲法の基本的人権や平和主義を中心とした設問

本問は、基本的人権や平和主義などを中心として、日本国憲法に関わる諸問題について網羅的に問うものである。これらは、政治・経済の入試で、例年出題頻度が極めて高い分野であり、2025年入試で出題される可能性も高い。

まず、基本的人権をめぐる問題である。最近の重要な立法や判例などについては、見落としがちな点が多いが、出題される可能性が十分にあることを意識して理解を深めておいてもらいたい。まず、ヘイトスピーチ対策法、LGBT理解増進法、アイヌ施策推進法については(問5(1))、マス・メディアによってしばしば取り上げられるなど関心は高く、入試においても出題が予測されるため、各法のポイントを押さえておく必要がある。また、性同一性障害特例法の違憲判決(問6④)に関して、生殖機能をなくす手術を性別変更の要件とする規定が違憲とされた事実だけでなく、同規定が日本国憲法第13条(幸福追求権)違反とされた判例の趣旨についても理解しておきたい。

次に、平和主義をめぐる問題である。政府は、2022年度に岸田内閣によって示された方針に従って防衛費を大幅に増大させていることなどから、安全保障政策に高い関心が集まっており、この問題には特に注目しておきたい。まず、平和的生存権に関わる日本国憲法前文の規定とともに、戦争放棄・戦力の不保持・交戦権の否認を規定する第9条の条文もあらためて確認しておきたい(問7)。その上で、自衛権、自衛隊、安全保障条約などに関わる基本的な知識や判例(問9・問10)をあらためて確認してもらいたい。また、アメリカ軍に特権的な地位を認める日米地位協定(問10④)や、アメリカ軍普天間飛行場の辺野古移設(問10③)など、沖縄のアメリカ軍に関わる問題についてもしっかりと理解しておく必要がある。さらに、日本被団協のノーベル平和賞受賞のニュースもあり、核兵器をめぐる議論についても出題が予測されるため、非核三原則(問9(2))のほか、核抑止論、核兵器禁止条約などに関しても、日本政府の姿勢を含め、理解を深めておいてもらいたい。

【倫理】

用語の暗記に走らず、思想内容の理解に努めよう！

第2問 問8

ブッダと荀子の思想の内容を問う問題

ブッダと荀子についての説明(ア・イ)と資料の内容についての説明(ウ・エ)から適当なものをすべて選んだとき、その組合せとして正しいものを選択させる問題。

ア：適当。ブッダは、最初の説法(初転法輪)で四諦(四つの真理)を示した。その四つとは、苦諦(人生は苦であるという真理)、集諦(苦の原因は執着であるという真理)、滅諦(執着がなくなれば苦もなくなるという真理)、道諦(滅諦に至るための正しい修行は八正道であるという真理)である。アは、これらのうち集諦と滅諦についての説明として適当である。

イ：不適當。「荀子」ではなく墨子についての説明である。墨子は、儒家の説く仁を、近親者重視の差別的な愛(別愛)であると批判し、親疎の区別なくすべての人を平等に愛する兼愛がいかに大切かを説いた。そして、人々がこの兼愛に基づき互いに利益をもたらし合い、平和のうちに共存する社会を理想とした。一方、荀子は、性悪説に立ち、人間には生まれつき利を求めて人を憎む傾向があるから、礼によって矯正しなければならないと説いた(礼治主義)。

ウ：適当。資料1では、水が滴り落ちていけばやがて水瓶は満たされるということになぞらえて、「愚かな者は、水を少しずつでも集めるように悪を積むならば、やがてわざわざにみたされる」として、「悪を軽んずるな」と述べている。ウは、こうした内容に照らして適当である。

エ：適当。資料2では、曲がった木を矯木をあてたり蒸しやわらげで矯正したりしてまっすぐにすることになぞらえて、「人間の本性は悪いものであって、必ず教師による規範によってこそはじめて矯正され、礼義(社会規範)によってこそうまく治まる」と述べている。エは、こうした内容に照らして適当である。

このような形式の設問は、二人の思想家の思想内容と、二つの資料の読取りを組合せて判断しなければならないため、総合的な力が試される。今回取り上げた源流思想だけでなく、日本思想や西洋近現代思想の分野でも同様の出題がありうるので、日頃から準備を怠らないようにしよう。

「採点に関する問い合わせ」について

このたびは、第3回全統記述模試を受験していただきありがとうございます。ご返信が遅くなりましたが、
 答案・個人成績表を見直した結果、今回の採点や得点に関して疑問や質問がある場合は、
 以下の手順に従ってお問い合わせください。

①送付先

右の問い合わせ用紙に記入し、31ページに記載されている河合塾の営業部あてに郵送にてお送りください。なお、河合塾生（塾生として申し込んだ大学受験科・高校グリーンコース生）の方は、所属校舎へご提出ください。

②問い合わせ用紙の記入方法

太枠内をすべて記入してください。問い合わせ内容は記入例を参考に以下の事項を記入してください。

- 科目名、大問・設問番号
 - 内容に該当する項目（A～Eの記号を選択）
 - 問い合わせ内容記入欄に、具体的な内容を補足
- * 科目や項目が複数ある場合は、それぞれについて問題番号と内容を記入してください。
 * なお、志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

③提出していただくもの

- 「採点に関する問い合わせ用紙」（提出前に必要事項にもれがないか、内容が具体的に記入してあるかを再度確認してください。）
- 「個人成績表」（コピーの場合は、両面を提出してください。）
 * ただし、Web返却対象者は必要ありません。
- 第3回全統共通テスト模試との総合学力評価（ドッキング評価）についての問い合わせの場合は、第3回全統共通テスト模試の個人成績表もご提出ください。（コピーでもかまいません。また、Web返却対象者は必要ありません。）

上記3点を同封し、封筒の表に朱書きにて「第3回全統記述模試 採点に関する問い合わせ用紙在中」と明記してご郵送ください。

- * 答案については提出不要です。ただし、解答用紙番号をもとに河合塾にて答案データ照合を行いますので、お問い合わせ箇所と内容について、具体的に記入してください。（不明点がある場合、確認のためにご連絡する場合があります。）
 なお、お問い合わせ箇所をより正確に指摘するため、答案（コピー）に明示し、添付されてもかまいません。

④送付締切日

12月9日(月)到着分まで受け付けいたします。

⑤返送日

回答は、1月9日(木)頃発送の予定です。

【個人情報の取り扱いについて】

- 問い合わせ用紙に記入された個人情報は、厳重に取り扱い適正な管理を実施します。
- 利用目的
 - 成績処理および成績返却
 - 個人を特定できない方法による統計資料の作成

「採点に関する問い合わせ用紙」の記入・提出方法についてご不明な点は、模試受付センターへお問い合わせください。

※河合塾生（塾生として申し込んだ大学受験科・高校グリーンコース生）の方は、所属校舎へお問い合わせください。

模試受付センター（12：00～19：30 日曜、祝日および12/31～1/3は受付を行いません。）

0120-977-558

* 模試受付センターでは、正確な応対と対応品質向上のため、通話内容を録音させていただいております。

2024年度 第3回全統記述模試 採点に関する問い合わせ用紙

* 太枠内をすべてご記入ください。

提出日 月 日

フリガナ 氏名				受験会場名				
受験番号				個人成績表の解答用紙番号	—			
在・卒高校名				クラス名			クラス番号	
住所 (連絡先)	〒 —			* マンション名、部屋番号まで記入してください。				
電話番号	() —			携帯電話番号	() —			

* お問い合わせの該当箇所・内容がわかるように、詳細に記入してください。

科目名	大問	設問番号	項目
(例) 数学Ⅱ型	②	(2)	B

←該当する項目（A～E）を左に記入してください。

- A. 正答が×になっている。
 - B. 部分点が正しく与えられていない。
 - C. 採点されていない箇所がある。
 - D. 成績表の得点が答案と異なる。
 - E. その他（下記に具体的に記入してください。）
- * 志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

【問い合わせ内容記入欄】 * 上の表に対する補足説明等をできるだけ詳しく記入してください。

(例) 成立する場合の説明に対して部分点が与えられていない。

【回答欄】

回答者

受付日	受付者

返却日	返却者

お問い合わせ先一覧

■模試について

- ①個人でお申し込みの方 河合塾模試受付センター 0120-977-558
②学校を通じてお申し込みの方 河合塾模試受付センター 0120-717-558
③河合塾生の方 [高校グリーンコース生専用フリーダイヤル] 0120-751-577
※高校グリーンコース生以外の塾生の方は所属校舎へお問い合わせください。

*河合塾模試受付センター／高校グリーンコース生専用フリーダイヤル（12：00～19：30 日曜、祝日および12/31～1/3は受付を行いません。）

■採点に関する問い合わせ用紙の記入・提出方法について

- ①河合塾生の方 所属校舎
②河合塾生以外の方 河合塾模試受付センター 0120-977-558
www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/



■採点に関する問い合わせ用紙の送付先 受付時間 9：00～17：00（土日祝休み）

- 北海道営業 〒060-0809 札幌市北区北9条西3-3 (河合塾札幌校内) TEL(011) 708-8584
【担当地区：北海道】
- 東北営業 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-6-27 (河合塾仙台校内) TEL(022) 215-7581
【担当地区：青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島】
- 関東営業 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-67-2 (河合塾大宮校内) TEL(048) 647-9581
【担当地区：茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟・富山・長野】
- 首都圏営業 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-2 四谷グローバルスタディスクエア6階 TEL(03) 6811-5532
【担当地区：千葉・東京・神奈川・山梨】
- 中部営業 〒464-8610 名古屋市千種区今池2-1-10 (河合塾千種校内) TEL(052) 735-1511
【担当地区：岐阜・静岡・愛知・三重】
- 近畿営業 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-13-1 TEL(06) 6372-5731
【担当地区：石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・岡山・徳島・香川・高知】
- 中四国営業 〒732-0057 広島市東区二葉の里1-1-50 (河合塾二葉の里オフィス2階) TEL(082) 264-4581
【担当地区：島根・広島・山口・愛媛】
- 九州営業 〒810-8619 福岡市中央区渡辺通4-2-11 (河合塾福岡校内) TEL(092) 714-5711
【担当地区：福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄】